

広報 きょうたんと vol.56

2008

平成20年

11月号

日本海に面した小さな入り江に、素敵なツリーハウスが誕生
～“こどもごころ”で海と森の冒険～ (久美浜町11ページ)

も く じ

地域活性化

・弥栄町野間でコシヒカリの商品化スタート 3

観光振興

・丹後観光圏整備実施計画認定 4

丹後ファッションウィーク

・国内最大の見本市へ出展 5

鳴砂サミット

・全国鳴砂サミット in 京丹後 開催 6

6次産業

・地域資源の可能性を探る(京丹後サワラ・丹後産コシヒカリ) ... 8

国際交流

・中国安徽省亳州市友好訪問団来訪 10

魅力発信

・海を一望できるツリーハウス完成 11

都市農村交流

・琴引浜保全ツアー・尉ヶ畑稲刈り体験ツアー 12

産業振興

・新規事業の開発、商品の魅力を創造 13

・国練検査制度 80 周年記念式典 13

高校グラフィティ

地域振興

・京都市と丹後が 15 分間短縮、京都市内で誘客キャンペーン ... 16

京都府のひろば 17

叙位叙勲 18

教育 19

・学校再配置検討委員会だより 19

消防のひろば 20

・落雷 ～自然災害に備える～ 20

防災 22

・自主防災組織の設立を支援します 22

交通安全 23

・交通事故のないまちづくりに向けて 23

まちの情報 24

・ふるさと応援団通信 ⑤ 24

・京都府丹後文化会館イベント情報など 25

下水道 26

・排水設備工事に補助金 26

まちづくり 28

・市の仕事満足度調査 結果まとまる 28

健康ひとくちメモ 30

・心も体も軽やかだっちゃ (転ばん体操) 30

ご意見箱 32

公共交通 34

市立図書館 35

細川ガラシヤ様との尊い由縁を活かし 弥栄町野間で コシヒカリの商品化スタート

細川護熙
元内閣総理大臣夫人
細川佳代子さんが
協力を快諾



細川佳代子さん(右から2人目)に野間産コシヒカリを手渡す(東京都) 左から岡本毅さん、羽賀義昌さん、右・中山泰市長

このように、同グループの羽賀代表と岡本毅さんおよび中山市長が、九月二十五日、細川ガラシヤの末裔である細川護熙元内閣総理大臣夫人の佳代子さんと東京で面会。野間地域の活性化に向けた挑戦の第一歩として、「野間産コシヒカリ」の商品化に向けての協力に對し、ご快諾いただきました。

縁をいただいた土地柄。野間地域のさまざまな魅力をも、米を中心に売り出したい」と、細川佳代子さん直筆の揮毫を依頼。また、野間活性化グループの岡本さんは「野間産のコシヒカリは、安心・安全で、どこにも負けない」と説明されるとともに、羽賀代表は「野間地域を活性化したいの思いで、お米の商品化に踏み出した。次

商品化に取り組むコシヒカリは、野間活性化グループ(羽賀義昌代表)が、野間地域を流れる清流野間川の水と低農薬で栽培された、安心・安全なこだわりのお米です。

や表土残留農薬の測定を行うなど、科学的な解析も行っていきます。

細川佳代子さんも 応援

細川ガラシヤ(略伝)

細川忠興の妻、玉子。永禄6年(1563年)、明智光秀の三女として生まれ、天正6年(1573年)、細川忠興と結婚後、丹後宮津城に居住。天正10年(1582年)、父明智光秀が起した本能寺の変の後、約2年間、弥栄町味土野で隠棲生活を送る。

その後、豊臣秀吉に許され忠興と復縁。大阪城に移り住んだころ、キリスト教に入信。「ガラシヤ」の洗礼名を受けた。忠興が出陣中の慶長5年(1600年)、石田三成が玉子に對し、人質になることを命じて細川邸を包囲するに至り、自ら覚悟の死を遂げた。



「細川忠興夫人隠棲地」の碑
(弥栄町味土野)



細川ガラシヤ肖像画

世代のためにも地域おこしをがんばりたい」と、地域活性化に対する熱意を伝えられました。

細川さんからは、野間地域の取り組みに対する協力に對して快諾いただくともに、野間産コシヒカリの商品名に對するアイデアをご提案いただくなど、取り組みに對する激励をいただきました。

地域の活性化をめざす

依遅ヶ尾の郷・矢畑
やばた
立命館大学との共援活動開始

丹後町
矢畑区

大学などとの協働により、地域の活性化に取り組むため、丹後町矢畑区と立命館大学経済学部松原豊彦研究室との間で「ふるさと共援組織」が発足し、十月八日、矢畑集落農事集会所(丹後町矢畑)で共援協定が締結されました。

同取り組みは、共援者である大学のみなさんの知恵や人材により、集落内にある地域資源の掘り起こしや活用を展開し、集落の活性化をめざしてさまざまな活動に取り組むもので、今回の協定により、上山区(丹後町)、甲坂区(久美浜町)に続き、市内で三つ目の共援組織が発足しました。

調印式には、大江良樹矢畑区長をはじめ区役員のかた三人および立命館大学の松原教授が出席。協定書に署名押印されました。

大江区長は「将来は、多くの地域で過疎化が進むと考えられる。我々の地域は、時代の先端を走っているのだという前向きな気持ちで、この矢畑区に活気を取り戻したい。ここには、依遅ヶ尾山(いちがおさん)をはじめとした活性化につながる地域資源も豊富にあり、地域内の道路も整備されている。大学のみなさんご協力をいただきながら、活性化に向けて取り組みたい」と話されました。

矢畑区には、現在、十六戸、三十六人が住んでおられ、高齢者比率は約四七割。集落の活性化に向けて平成二十二年度までの三年間、大学とともに集落再生計画の策定をはじめ、さまざまな活動に取り組まれます。

矢畑集落農事集会所(丹後町矢畑)での協定調印式
左・大江矢畑区長、右・松原教授



丹後織物の魅力をアピール



丹後RBAは、丹後織物の魅力を発信するために丹後地域

丹後織物の魅力をPR

国内最大の見本市へ出展

丹後ファッションウィーク開催委員会

丹後織物の高度な技術力と商品力を紹介し、新たな需要開拓をめざすため、十月十五日〜十七日の三日間、東京国際展示場で開かれた国内最大の繊維総合見本市「JFW・ジャパン・クリエーション」に、丹後地域の織物業者十六社が合同で出展。「丹後RBA in JC2009A/W」と題した展示会を実施しました。



JFWジャパンクリエーション会場（東京国際展示場）

さらに、個別ブースを展開した事業者のかたが、新たな販路の開拓をめざし、来場されるかたと直接商談を行い、丹後織物の肌触りや技法の紹介をはじめ、商談に積極的に取り組みました。

会場には、三日間で延べ約三万二千人が来場。「丹後RBA」のブースを訪れたかたへのアンケートからは「新しい感覚と伝統によるよさが伝わった」、「飾りつけもよくインパクトがあった」などの感想をはじめ、「海外のものではなく、日本の伝統技法に期待している」などと丹後産地への期待の声もありました。



丹後ちりめんの質感を熱心に確認

丹後ちりめんの質感を熱心に確認

世界に羽ばたく丹後織物をめざし 産地とデザイン校などが連携

丹後ファッション・ウィーク開催委員会

丹後織物工業組合（大宮町河辺）や丹後ちりめんの生産現場を視察。将来のファッション業界を担う学生みなさんに、丹後産地や丹後織物のよさを直に知っていただくため、来丹いただきました。

丹後織物工業組合の視察では、丹後ちりめんの歴史をはじめ、現在の丹後織物や和装を取り巻く状況の説明を受けたほか、工場内を見学。丹後ちりめんを手に取り、その質感を確かめておられました。参加された学生のかたは「丹後ちりめんの白生地はとてもきれいなので、染めるのがもったいない」などと話されました。



丹後
3市2町で
広域連携

丹後観光圏

整備実施計画

全国第一号の一つに

認定

四季型・滞在型観光の推進に弾み

観光地が広域的に連携し、二泊三日以上の滞在型観光をめざす「観光圏」の形成に向けて、十月一日「京都府丹後観光圏」（舞鶴市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）の整備実施計画が、全国十六地域のひとつとして国から認定。丹後の四季型・滞在型観光の推進に向けて大きな弾みとなりました。

ゆるり ぐるり ほっこり 丹後

京都府丹後観光圏で 「四季型・滞在型観光」を推進

これまでの冬のカニ、夏の海水浴を中心とした二季型観光から、「ふるさと生活体感型観光」にこだわりの「四季型・滞在型観光」への脱皮を図るため、「ふるさと力」、「誘客力」、「地域力」の3つの観光力による「うみ・さと・やまの癒しと健康のふるさと」丹後を、3市2町が広域的に連携して取り組みます。

日本有数の観光圏を
めざします

「京都府丹後観光圏」の整備実施計画は、丹後三市二町で組織する丹後広域観光キャーベン協議会（会長 柏原康夫京都府観光連盟会長）が中心となり国へ申請。丹後地域の魅力と「滞在型観光」推進の可能性が高く評価され、全国第一号の認定を受けました。これにより、平成二十年・二十一年の二年間、観光圏形成のための取り組みに補助金

の交付が受けられるほか、旅行業法の特例措置を受けられるなど、さまざまな利点があります。

同協議会では、外国語版観光ホームページの作成や体験プログラムの開発、おもてなし研修の実施、さらには魅力的な公共交通との連携など、観光客の来訪と滞在促進を図るための取り組みを積極的に進めており、日本有数の観光圏および世界が注目する観光圏の推進へ向けての取り組みがはじまります。

計画の認定を受けた16地域

	圏 域 名	関係市町村
北海道	富良野・美瑛広域観光圏	富良野市を含む1市4町1村
東北	伊達な広域観光圏	仙台市を含む6市4町
	やささと自然の温もり ふくしま観光圏	福島市を含む4市
	会津・米沢地域観光圏	会津若松市を含む3市2町
関東	あなたの空と大地 水戸ひたち観光圏	水戸市を含む9市3町1村
	南房総地域観光圏	南房総市を含む3市1町
	富士山・富士五湖観光圏	富士吉田市を含む1市2町3村
北陸信越	雪国観光圏	魚沼市を含む3市3町1村
中部	伊勢志摩地域観光圏	鳥羽市を含む3市1町
近畿	京都府丹後観光圏	舞鶴市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町
	淡路島観光圏	淡路市を含む3市
中国	中海・宍道湖・大山観光圏	境港市を含む8市14町1村
	広島・宮島・岩国地域観光圏	広島市を含む4市1町
四国	にし阿波観光圏	三好市を含む2市2町
九州	新東九州観光圏	由布市を含む7市
	阿蘇くじゅう観光圏	阿蘇市を含む2市4町3村

豊かな自然の継承に向け

琴引浜から考える

鳴砂保護の今とこれから

全国鳴砂サミット

in 京丹後開催

全国にある鳴き砂の浜を保全する団体が集い、鳴き砂を後世に伝え残すことを目的に、十月十九日、二〇〇八年全国鳴砂サミットが丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）で開催されました。

昨年七月、鳴き砂の浜として初めて「国指定天然記念物 および名勝」の指定を受けた琴引浜。市では、地域住民のみなさんで組織された「琴引浜の鳴り砂を守る会」（松尾庸介会長）とともに、琴引浜の鳴き砂の浜を保全するため、海岸漂着ごみの清掃や海岸松林の整備など、鳴き砂保護の活動を行ってきました。

また、全国には鳴き砂の浜として確認されている浜が三十余りあり、鳴き砂は豊かな自然の指標として、全国各地で保全活動が行われています。同サミットは、全国鳴砂ネットワーク（全国の行政や団体など十七の組織で構成）の

主催で毎年開催されており、本市での開催は合併前の網野町での開催を含めて三回目です。今回のサミットには同ネットワークに加盟する十地域・約百五十人が参加。琴引浜の鳴り砂を守る会や全国鳴砂ネットワークを長年指導された故三輪茂雄同志社大学名誉教授の追悼とともに、鳴砂保護の輪を広げるため、講演やパネルディスカッション（討論）などを実施しました。

参加団体など

京丹後市	琴引浜の鳴り砂を守る会
山形県飯豊町	飯豊町
北海道室蘭市	室蘭市、室蘭イタンギ浜鳴り砂を守る会
青森県八戸市	はちのへ小さな浜の会
宮城県気仙沼市	十八鳴浜研究会
仙台市	仙台湾鳴り砂研究会
福島県いわき市	いわき鳴き砂を守る会
新潟市	角海の鳴き砂をよみがえらそう会
島根県大田市	大田市
福岡県二丈町	姉子の浜の鳴き砂を守る会



鳴砂保護の現状、課題を考える

地の鳴き砂を保全する新たな団体を増やし輪を広げる活動も大切。また、鳴き砂保全は行政の取り組みだけではなく、地域住民による持続的な活動が必要。など、今後の鳴き砂保護に向けての意見が出され、保全活動における後継者育成に向け、気持ちを新たにされました。

かけがえのない鳴砂を次代へ



採択。同サミットの締めくくりにあたり、地元京丹後小学校の児童四人が同宣言を読み上げ、鳴き砂を将来に引き継いでいくことを誓い、保全について心を新たにするとともに、全国へアピールしました。

2008全国鳴砂ネットワーク宣言文

地球の中では、動物も植物も自然と共生しながら、お互いに支えあって生きています。わたしたち一人ひとりが地球環境について考えて行動することが大事です。

豊かな自然のバロメーターである美しい鳴砂を、かけがえのない地域の宝物として将来に伝えることができるように、市民・行政・専門家が力を合わせて守っていくことを宣言します。

平成 20 年 10 月 19 日 島津小学校



三輪教授の記念碑を除幕

左から福岡信夫 遊区長、岡田一雄 掛津区長、荒巻禎一前京都府知事、中山泰 京丹後市長、簡居博司 理事長〔（財）日本ナショナルトラスト〕、松尾庸介 会長（琴引浜の鳴り砂を守る会）

三輪教授は、琴引浜をはじめ、全国の鳴き砂の浜の調査を通して、その保護の大切さを

鳴き砂の父 故三輪茂雄教授

功績たたえ記念碑建立

鳴き砂の保護、一層決意

鳴き砂研究の第一人者である故三輪茂雄同志社大学名誉教授の功績をたたえ、琴引浜鳴き砂文化館（網野町掛津）に記念碑を建立。十月十八日、地元や全国鳴砂ネットワークの会員のみなさんなど、約六十人による除幕式（琴引浜の鳴り砂を守る会主催）が行われました。

三輪教授は、琴引浜をはじめ、全国の鳴き砂の浜の調査を通して、その保護の大切さを

基調講演

鳴砂と日本文化 鳴砂の意義の発見



名古屋学院大学
大学院経済経営研究科
尾崎 都司正 教授

同サミットでは、三輪教授の指導を受けられた名古屋学院大学の尾崎都司正教授を招き、「鳴砂と日本文化」鳴砂の意義の発見」と題して講演会が開催されました。

尾崎教授は「江戸時代の地誌『丹哥府誌』（たなかふし）からみて、江戸時代にはすでに琴引浜と呼ばれていたと考えられる。都からの距離も比較的近く、多くの人の往来があったであろう当地の鳴き砂の浜に、『琴』の文字が使われているのは、この地に古くから高い文化があったのではないかと

指摘

また、鳴き砂の浜は、音を出してわれわれをやさしく包容してくれる存在。人々に安心感を与え、その地域に独特の文化を築き上げてきたといえるのではないかと



市内では多くの生産者のかたが、最高品質の米づくりをめざして栽培されています。そのような中、平成十九年産の丹後産コシヒカリは、(財)日本穀物検定協会が発表する「米の全国食味ランキング」で、

丹後産コシヒカリ 販売戦略を模索

西日本では唯一となる「特A」を獲得するなど、丹後のコシヒカリは非常に高い評価を得ています。

今回のプロジェクト会議では、市内でこだわりの栽培方法によりコシヒカリを栽培さ

売れる米をめざし、 おいしさ基準づくりが必要

低 農薬や化学肥料を使わずに、安心・安全でおいしい米づくりが市内で行われている中、「売れる米づくり」について議論され、どのようなか米がおいしい米なのか」という基準について、意見が交わされました。

徳岡専門委員は「食材の味や成分などといったおいしさに関わる複合的な要素を

数値化し、世界でも通用する『おいしい米の基準』をつくることはとても重要。消費者に正確な情報を提供することができるとともに、生産者にとっても生産における明確な目標となる」と「おいしさの基準づくり」の必要性を強調。参加した生産団体のみなさんから、「基準づくりは重要。水質や土壌、気候などの分析データの情報も集める必要があるのではないか」などといった意見が交わされました。



れている、四つの生産団体の代表のかたが参加。徳岡専門委員と意見交換しながら、「より高く売れる米のつくり方・売り方」についての手法を模索しました。

丹後産コシヒカリ「おいしさの基準」づくりに向け



10月6日には、同計画の実践農地選定準備のため、市内4か所の生産現場を視察。それぞれの生産者のみなさんとほ場の環境や生産についてのこだわりなどについて意見交換をしました。

今後、土壌調査などの結果をもとに、同計画の実践ほ場や賛同いただける生産者のかたを決定し、来年から取り組み予定としています。

徳岡専門委員は「おいしさの基準をつくり、それを実践することは、全国の二次産業の活性化につながるのではないか。その第一歩を京丹後市から踏み出すことはとても意義深く、本市に対する大きな信頼にもなる。生産者のかたとともにがんばりたい」と話されました。

徳岡邦夫市専門委員 農業トラリアル計画始動

徳岡専門委員が、本市で地元農家のかたと一緒にコシヒカリを栽培し、丹後産コシヒカリのさらなるブランド化に向けヒントを探る「農業トラリアル計画」を実施することとなりました。

同計画は、本市でのコシヒカリの栽培をとおして、消費者にわかりやすい「おいしさの基準」づくりをめざします。丹後産コシヒカリが、「消費者に求め続けられる米」となるために必要な、おいしさに関する複合的な要素やそれを備えた米の栽培方法などを調査・実践し、本市から発信することをめざします。

～6次産業創造プロジェクト～ 「京丹後サワラ」・「丹後産コシヒカリ」 地域資源の可能性を探る

市では、第一次産業から第三次産業までの産業間の連携や複合化を推進し、京丹後市の新たな魅力の創造をめざす、「六次産業創造プロジェクト」に取り組んでいます。今年度は、京都吉兆の徳岡邦夫総料理長を同プロジェクトチームの専門委員に委嘱し、農水産物などの地域資源を活用した魅力の創造を検討しています。

そのような中、十月六日、七日の二日間、徳岡専門委員を招き、同プロジェクト会議を二部構成で開催。第一部では、近年、府内で漁獲量が大幅に増えている「サワラ（サゴシ）」の活用について、地元スーパーマーケットの仲買のかたや漁協組合長などの関係者がぎよんセンター（久美浜町湊宮）で意見交換。

また、第二部では丹後産コシヒカリのさらなるブランド化に向けての意見交換などを国民年金健康センター丹後おのみや（大宮町三坂）で実施。「おいしくて安全な米づくりと販売戦略」などについて、市内の米生産団体のかたが議論を交わしました。



平成十八年・十九年と二年連続で水揚げ量日本一となった京都府産のサワラ。本市でも小型サワラ（サゴシ）が多く水揚げされており、同プロジェクトチームではこのサワラを活用した特産品づくり、

京丹後サワラ 地産地消に向けて



ブランド化に取り組んでいます。

今回の会議では、特産品づくりやブランド化に向けて、「サワラという魚を市民のみなさんに知ってもらふこと」、「京丹後サワラが手軽に買

求められる魚になること」、「京丹後サワラの最大の消費地が京丹後市となること」などの必要性について議論。販売促進PRや地産地消の推進に向けた方策を探りました。

（仮称）「地産地消をすすめる会」 発足に向けて準備

サワラの販売推進に向けて、レシピ（調理法）集の作成や看板掲示などといった「消費者の目線に訴える取り組み」を提案。また、水揚げしたサワラを「形や傷の有無で選別」したり、「水揚げ時間や鮮度保持の方法を明示」したりすること、ほかの産地のサワラと差別化を図るといった、漁業現場での品質管理に向けた取り組みについても議論。徳岡専門委員は「科学的数値などで裏付けられた、鮮度やおいしさの基準が必要」と指摘しました。これらの議論を踏まえ同プロジェクトチームでは今後、漁業者や販売店および行政がそれぞれの立場などを相互に理解・共有し、課題の解決に向けて取り組む、「（仮称）京丹後サワラの地産地消をすすめる会」の発足をめざします。



竹灯籠の幻想的な灯りに照らし出される「ツリーハウス」

日本海に面した久美浜町蒲井・旭地域の小さな入り江に、世界で唯一、海の絶景を一望できる「ツリーハウス」が完成し、十月十八日、完成披露イベントを開催しました。

市内のみなさんをはじめ日本全国から約百人が参加され、完成した「ツリーハウス」の見学やハナシヨウブの植栽、ツリークライミング、竹灯籠ライトアップコンサートなどを楽しみました。

「ツリーハウス」は、同地域の日本海を見下ろす丘に立つタブノキ（高さ約一六メートル）の中段に、らせん階段と展望台を、上段の小さな空間にはヒノキでつくった木の香りが漂うハウスを設置。この取り組みは、京丹後の豊かな自然を活かした森や自然の元氣に気づき発見できる場所の整備を進めるため、市が「ツリーハウス・クリエイション」に「ツリーハウス」の制作を委託



日本海に面した小さな入り江に 世界で唯一 海を一望できる「ツリーハウス」が完成

（久美浜町蒲井・旭地域）

し、約四十日間かけて制作していただきました。また、平成十九年十月から二回にわたって「ツリーハウスの制作に向けたワークショップ（体験講座）」を開催するなど一年にわたり準備を進めて見事に完成。



日本海に面した小さな入り江に浮かぶ「ツリーハウス」

の第一人者である小林崇さんが「最初この場所は竹藪で、来るのもたいへんな場所でした。地元のみなさんにも道づくりなどで協力していただき、世界で初めてとなる海の景色が一望できる素晴らしい『ツリーハウス』をつくることができました。今後は、多くのみなさんにかわいがっていただき、この地域の発展のために活用していただきたい」とあいさつ。最後に、「ツリーハウス」体感へのカウントダウンを行い、海部・田村小学校の児童のみなさんが色とりどりの紙テープを投げて完成を祝いました。

また、ワークショップでは、ツリー

クライミングや餅つき、ハナシヨウブの植栽体験などを楽しみました。

夕方からの、竹灯籠ライトアップコンサートでは、世界最古の管楽器とドラムの音色とともに「ツリーハウス」のライトアップと竹灯籠の灯りが織りなす幻想的な風景に、観衆が魅了されました。

今後は、同地域のみなさんと一緒に安全を第一とした「ツリーハウス」の活用方法のルールづくりを行い、「元氣のシンボル」として、京丹後の魅力を市内外やアジアを含めた全世界の多くのみなさんに発信していきます。

友好都市としてさらに交流を深める 中国・安徽省亳州市友好訪問団が来訪

潘強（シン・チャン）亳州市人民政府常務副市長（※団長）と中山市長が両市の特産品を交換し堅く握手を交わす



平成十八年十月に「友好都市提携」の協定を締結している中国安徽省（あんきしやう）亳州市（はくしゅうし）の「亳州市友好訪問団」（団長・潘強「シン・チャン」亳州市人民政府常務副市長・三人）が、十月七日から九日まで、京丹後市を訪問し、両市の観光訪問、経済交流などについて話し合い、友好都市としてさらに交流を深めました。

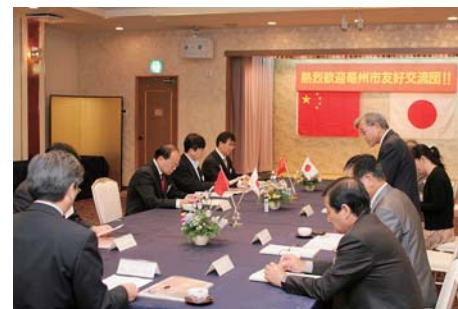
亳州市からの公式訪問は今回で四回目となり、「友好都市提携」の締結後初めての来訪。昨年十一月には「京丹後市公式訪問団」が亳州市を訪問しており、約一年ぶりの再会となりました。

歓迎交流会

七日の歓迎交流会では、京都府をはじめ、市内関係機関（議会・商工会・観光協会・区長会など）の代表者のみなさんや、京丹後市国際交流協会の会員のみなさんなど約七十人が参加し、中山市長が歓迎のあいさつを行った後、亳州市の潘強（シン・チャン）副市長が「京丹後市の熱烈的な歓迎に感謝します。この訪問を皮切りに両市の交流がさらに深まることを期待します」とあいさつ。歓迎アトラクションとして、日本の伝統芸能である大正琴を大正琴アンサンブル琴華・ことはなのみなさんに、また、神楽を荒山神楽保存会のみなさんに披露していただき、亳州市友好訪問団のみなさんに日本の伝統文化の魅力に触れていただきました。

交流についての会談

八日の会談では、「亳州市友好訪問団」の潘強（シン・チャン）副市長・戴力（ダイ・リー）副市長・劉斌（リウ・ビン）副市長と、京丹後市の大下副市長



会談で、両市の交流の歩みと歓迎のあいさつを述べる大下副市長

長・米田教育長・沖田商工会長・板垣観光協会会長・中江国際交流協会会長で今後の具体的な交流についての会談を行いました。

京丹後市側からは「機械金属業など外国人研修制度の活用による労働者の受け入れ、丹後のコシヒカリや新鮮な海産物、海・山などの豊かな自然を活かした滞在型観光など具体的な経済交流・観光訪問」について提案。

亳州市側からは「二年に一度の行政訪問団や中学生訪問団の派遣、文化やスポーツを通じての交流など」について提案され熱心に会談。両市の共同繁栄と友好都市の絆をさらに深めていくとともに、さまざまな分野で関係の強化を図っていくことを確認しました。

自然景観を視察



琴引浜の海水浴シーズンなどを質問する潘強（シン・チャン）副市長（右）

丹後ちりめん織元を視察



丹後ちりめんの魅力を手触りで実感。左から潘強（シン・チャン）副市長・劉斌（リウ・ビン）副市長・戴力（ダイ・リー）副市長



琴引浜保全ツアー 開催

鳴き砂の浜として全国で初めて「国指定天然記念物および名勝」に指定された琴引浜で、九月二十七日・二十八日、白砂青松の継承に向け保全活動の輪を広げようと、都市部と地元住民が一緒に行う「琴引浜保全ツアー」（はだしのコンサート実行委員会主催・岡田一雄会長）が初めて開催されました。琴引浜の自然環境は、原生林のような手つかずの大自然とは違い、砂浜も松林も保全が必要です。そして持続的



に保全を図るためには、一部の人に負担が集中しない、自発的な参加・地域経済効果といった要素が求められます。このツアーは、担い手を募る地元住民、自然とのふれあいを求める都市部の親子、活性化を望む地域の民宿がそれぞれのニーズ（要求）を満たしながら環境保全との両立を図るとい、先駆的な取り組みです。

第一回目となる今回は、京都市内の親子連れなど十二人に地元からの参加も含めた約五十人が保全活動や自然体験で交流を深めました。

初日に鳴き砂や海浜植物の学習会と海岸清掃を、二日目には約二時間にわたり海岸松林の間伐・枝打ち・地かき作業を実施。適度に間引かれた松林を見て参加者からは「きれいになった」、「来年は松露があがるといいな」と笑顔がこぼれました。また、地元名人に教わりイカ釣り体験も実施。八幡市から参加された宮本茂樹さんは「松林の間伐は、体験型の旅行としてはちょうどいい運動量。成果も一目でわかるので達成感があるし、参加者全員で楽しみながら社会貢献しているという充実感も味わえた」と話されました。

新規事業の展開 商品の魅力創造 をめざし

「相談会」および 「セミナー」を開催

新事業展開などをお考えのかたや、「店を繁盛させたい」、「商品の売れ行きを伸ばしたい」などの思いをお持ちのかたを対象に、九月五日・十九日の両日、「事業計画等個別相談会」および「魅力創造セミナー」を峰山地域公民館（峰山町杉谷）で開催しました。



商品・サービスの魅力の磨き方などを説明「魅力創造セミナー」

同相談会およびセミナーは、丹後地域産業活性化推進会議の主催で、昨年

十二月に続いて、経営コンサルタントである株式会社日本総合コンサルティングアカウンティング部の吉田俊也部長を招き実施しました。

「事業計画等個別相談会」には、延べ五組七人のかたが参加。新たな事業展開や新分野進出に関する事業計画について相談され、熱心にアドバイスを受けておられました。

また、「魅力創造セミナー」では、お客さんを増やしたり、売り上げを伸ばすための、お店や商品、サービスの魅力の磨き方や、その伝え方・伝わり方について、「強みを知りそれを活かそう」、「買う理由」を伝えてあげよう、「カッコよさはいらない。素直な気持ち伝えよう」など、わかりやすく説明される中、休憩時間も講師と受講生のやりとりが行われ、また講義後には多くの質問が出されました。

受講されたかたは「とてもよくわかり、楽しく学ばせていただきました。もっといろいろとお話を聞きたいです」、「なるほどと思うようなことがたくさんありました。今後の店づくりの参考にしたい」などの感想が寄せられました。

丹後地域産業活性化推進会議では、市内の事業者のみなさんのニーズにもとづき、今後も相談会やセミナーを開催していきます。

都市と農村 交流深める

京丹後の秋を満喫 源流の里 尉ヶ畑で 稲刈りを体験

さわやかな秋晴れとなった9月27日、久美浜町尉ヶ畑で稲刈り体験ツアーが実施され、京都市などから約20人が参加。稲刈り作業を通して地元農家のみなさんとの交流を深めました。



尉ヶ畑（久美浜町）で手刈りでの稲刈りを体験

同体験ツアーは、昨年から本市を中心に、農業体験などによる都市と農村の交流活動に取り組まれている「NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会」（京都市・宮崎猛理事長）が主催。同協会は、農山漁村地域の発展や伝統文化の継承をはじめ、環境にやさしい循環型社会の構築などを推進し、総合学習や生きがい、健康づくりに寄与することを目的に活動されています。

今回の稲刈り体験は、都市住民および尉ヶ畑地区の農家のみなさんが同地区で行っている交流事業の一環として行い、五月の田植え、六月の草取り作業に引き続き実施されました。

参加されたかたは、地元グループ「源流の里」福田繁夫さんの指導のもと、たわわに実った日本晴（約一〇㍎）の手刈りに挑戦されました。額に汗をにじませながら、ていねいに稲を刈りとりコンバインで脱穀。刈りとり後にはコンバインに乗って記念撮影をするなど、参加者全員が笑顔で交流を深めました。

京都市から参加された高田晋史さんは「大勢で楽しみながら稲刈りができたけど、これが仕事となるとたいへん。お米の大切さを感じます」と農業の厳しさを実感されていました。

今回収穫されたお米は、地元の酒蔵に搬入、日本酒に仕込み、十二月中旬に生酒がでる予定です。

先人の偉業を偲び

くにねり

丹後織物の 発展を願う

国練検査制度 八十周年記念式典

丹後ちりめんにおける品質検査「国練（くにねり）検査制度」の実施八十年を記念した式典が、十月一日、峰山総合福祉センターにある「ちりめん苑」（峰山町杉谷）で行われ（丹後織物工業組合主催・渡邊正義理事長）、織物関係のかたなど約七十人が参加されました。

丹後で「国練検査制度」がはじまったのは昭和三年九月一日。丹後織物工業組合の前身である丹後縮緬（ちりめん）同業組合によって、丹後で織ったちりめんと丹後で練り、一反ごとの品質検査を行う「国練検査制度」が確立。誇りと責任ある製品の出荷組織・制度

を実現し、産地の地位向上に大きくつなかりました。

渡邊理事長は「二百九十年の伝統ある丹後産地が全国最大の絹織物産地に発展したのも、先人の英断と業者の強い団結による賜物。その先覚の偉業を偲ぶと感無量。現在の和装業界を取り巻く環境は厳しいが、全組合員が総力を結集し、丹後産地の将来に繁栄をもたらすことが先人の努力に報いるための我々の使命」とあいさつされ、丹後織物発展に向けた決意を新たにされました。

国練検査制度とは

丹後産地で製織したものを地元で精練加工し、品質検査をして出荷すること。

明治から大正初期の丹後機業は、織りのみを行い精練加工は京都の間屋を通して西陣で実施。その結果、相場の変動によって間屋からの「難引」、「返品」を甘受せざるを得ない極めて弱い立場におかれていました。

そのため、峰山町の精練業者を中心とした「丹後縮緬国練期成同盟」が結成されるなど、国練検査制度にむけたさまざまな取り組みが長年、行われました。そして丹後縮緬同業組合の津原武理事長を中心に、丹後機業が団結して多くの問題を解決し、昭和3年9月1日、精練・品質検査までを産地で一貫して行う「国練検査制度」を実現。産地の地位を向上させた。



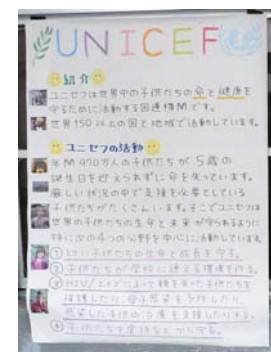
～The very best of 文化祭～

久美高のビッグイベントの一つである「文化祭」が、9月3・4日に盛大に行われました。「The very best of 文化祭」というテーマのとおり、私たちにとって「最高」の文化祭になりました。みんな、演劇・イベント・模擬店に一生懸命取り組みました。各クラスの発表に加えて、生徒会企画、PTAのお父さんお母さんによる模擬店、吹奏楽部や軽音楽部のライブ演奏などもあり、とても充実した2日間でした。



家 庭で使わないものを集めてフリーマーケットをしました。初めての文化祭だったけど、みんな全員が自分の役割をちゃんとこなしていて、準備がすっかりできたと思います。特に、教室の内装の係の人は、教室の中をキレイに見せるためにいろんな工夫をしてくれてとてもよかったです。フリマは、みんながたくさん工夫

してくれたから成功したと思います。ユニセフについて調べたり、募金活動ができたのもよかったです。売り上げの二万七千百九十八円をユニセフに寄付できました！



世界の子どもたちへ

もちろん、各クラスの発表も素晴らしく、最高の文化祭でした！



元生徒会長 安川潤一くん(3年生)

毎 年久美浜高校の文化祭がみんなに楽しんでもらえるのには、久美高ならではの秘密があります。まずは、先生方がとても協力的であることです。担任の先生方は、お願ひすれば劇に出演してくださるし、そのほかの先生方も完成度の高い『教員劇』をしてくれます。さらに、軽音楽部によ

る『文化祭ライブ』が行われ、毎年大盛況です。今年は、ポピュラーでノリのよい楽曲で、今までになく盛り上がりました。そして、全校生徒が楽しめる、生徒会の主催の『生徒会企画』があります。今年は、生徒や先生の出身都道府県のアツと驚く情報を紹介してもらった「久美高的なケンミンショー」と、ステージで芸を披露してもらった「一発芸大会」を行いました。生徒も先生も一緒に楽しんでました。

中西裕之くん(3年生)

秋晴れの十月二日、毎年恒例の「クリーン作戦二〇〇八」に全校生徒で取り組みました。学年別に、久美浜町内の道路、施設、公園などをきれいにしました。よい天気の中、自然とふれあいながら、気持ちよく美化活動を行いました。

クリーン作戦 2008

**きれいな町は
気持ちいい**



甲山駅の植え込みの剪定



こんなに集まりました

クリーン作戦では、普段の生活ではわからなかったことに気がつくま

した。一つは、たくさんのごみが道路の脇や田んぼにポイ捨てされていることです。一つ一つのごみを拾う作業はたいへんでした。「だけれど簡単に捨てたごみを、別のだれかがたいへんな思いで拾うなら、初めから捨てなければいいじゃないか」という、当たり前だけど大切なことに改めて気づきました。出したごみは、その人が責任を持ってきちんと

24期生カヌー一部主将 松田圭祐くん(2年生)

僕たちは六〇〇の部でスタートされる選手のみなさんに、笑顔で「おはようございます」や「がんばってください」などを言い、給水・給食のお手伝いをし、送り出すことができました。今回のボランティアで、地域のみなさまにお世話になった分、すべて

地域のみなさまに 恩返し

歴史街道・丹後100km
ウルトラマラソンで
ボランティア

僕たち久美浜高校カヌー部は、日ごろカヌーの大会などでたいへんお世話になっている地域のみなさまに恩返ししようと思い、ボランティアに参加しました。



笑顔で送り出し

を恩返しすることはできませんが、みなさんへの感謝の気持ちを、ボランティアという形で伝えることができます。とてもよかったです。ありがとうございました。



平成19年1月、冬季風浪により破堤（被災直後の後ヶ浜護岸・丹後町間人）

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から府民のみなさんの生命・財産を保全し、また水源かん養、生活環境の保全・形成などを図る事業です。京都府では、現在、治山事業の一環として海岸工事を後ヶ浜海岸（丹後町間人）で行っています。

京都府のひろば

本紙9月号から、京都府で取り組まれています市民生活にかかわる事業などについてご紹介しています。

治山事業で

「後ヶ浜海岸防潮護岸」復旧中

来年度中の完成を目標に

順調に進ちよく

海岸なのに治山事業

「治山事業でなぜ海岸工事なのか」、そう思われるかたがほとんどではないでしょうか。

京都府には、舞鶴市から京丹後市にかけて美しい海岸線が続き、それらのほとんどは国土交通省・水産庁の所管となっています。しかし、主に砂浜に隣接する海岸林はその背後にある人家や公共施設を守る目的から、保安林に指定されている場合が多く、その保安林については林野庁が所管しています。そして、時にこの海岸林を災害から守るために、治山事業により海岸に構造物を設置することがあります。

今回、工事を行っている丹後町間人に位置する後ヶ浜海岸にも隣接して保安林があります。特に、この海岸は砂

京都市内と丹後が十五分間短縮

イオンモール京都ハナで 誘客キャンペーンを開催

秋の行楽シーズンを前にした九月二十八日、京都市右京区のショッピングセンター「イオンモール京都ハナ」で、京都縦貫自動車道の一部区間開通を契機とする都市部から丹後地域への一層の観光客誘致に向けた丹後誘客キャンペーン（主催・丹後広域観光キャンペーン協議会、京丹後市観光協会）が開催されました。



買い物客のみなさんにパンフレットを配布する丹後きものクイーン（左から中村さん・小長合さん）

京都府域の一体的発展を目的に整備が進められる高規格幹線道路の京都縦貫自動車道で、綾部安国寺IC（インターチェンジ）と京丹波わちIC間が九月十三日に開通。これにより京都市内と丹後を結ぶ時間が約十五分間短縮されることとなりました。これを受け、都市部からの交通が一層便利になった丹後地域への誘客につなげようと同キャンペーンを企画。多くの家族連れなどでにぎわうショッピングセンターで、『秋の丹後へ行くこう！「ゆるり、ぐるり、ほっこり、丹後」』と題し、丹後の心癒（いや）される景観や癒しの温泉、秋の味覚の紹介、さらに十一月の力二漁解禁を前にした観光PRを行いました。

会場周辺では、丹後きものクイーンが、あでやかな着姿で買い物客のみなさんに次々と声をかけ、観光パンフレットなどを配布。会場内では、PRコーナーや琴引浜の鳴き砂体験コーナーを開設し、京都市からより近くなった丹後地域の魅力を、多くのかたに紹介しました。

社会人野球クラブ 京都ファイアーバース ベースボールクラブ

運動会で園児と交流

地域貢献活動

市と包括協力協定を締結（平成十八年二月）している社会人野球クラブ「京都ファイアーバース・ベースボールクラブ」が、十月四日、峰山幼稚園（峰山町杉谷）を訪ね、同園で開催された秋の運動会に参加し、園児と交流しました。



同クラブは、三日～五日の三日間、峰山球場（峰山町杉谷）を拠点に恒例となった秋合宿（京都ファイアーバース支援・連絡たんご応援団実行委員会主催）を実施。今回の峰山幼稚園への訪問は、市との包括協力協定に基づく地域貢献活動の一環として、同クラブの選手八人が運動会に参加しました。同園の運動会は、環境教育に着目。「ちぎゅうはみんなのたからもの」を合い言葉に、環境をテーマとしたさまざまな競技や催しが行われました。選手は、園児が披露する「もったいない音頭」を一緒に踊ったり、環境を破壊するキャラクターに扮するなど会場を盛り上げたほか、園児と一緒に競技に参加するなどし、園児たちも大はしゃぎ。同園および地域との交流を深めました。

また、五日には、峰山球場でホームラン競争などの交流イベントも開催。その後、社会人野球クラブ「京都ダイヤモンドフェニックス」との練習試合も実施され、会場からは大きな声援が送られました。

の移動が激しいため、波打ち際は常時移動しており冬季には激しい波に浸食されることもしばしばです。そのため、護岸による保護を行わなければ飛砂や風を防いでいる海岸クロマツ林が生育せず、背後の住宅や農地・国道に影響が出る恐れがあったことから、昭和四十年代に治山事業によって防潮護岸が設置されました。

護岸により海岸林への波の影響は格段に減少し、現在も保安林としての役割を果たしています。しかし、その間、基礎部分の砂の移動の繰り返し、また護岸を越えた波による背後の砂の吸い出しなどの影響もあり、平成十九年一月の冬季風浪により、ついに当時設置した防潮護岸が破堤するに至りました。



海岸には保安林が隣接

早期完成をめざし 取り組みます

歴年の波浪による護岸本体の劣化も激しいため、復旧は既設護岸を撤去後、



護岸の前面に波を打ち消すブロックを設置

再度新しい護岸を建設することとした。しかし、同形状の構造物では再度被災する恐れもあるため基礎部を深くし、さらに護岸前面に波を打ち消すブロックを設置することとしました。

工事は、冬季波浪が治まった平成二十年三月から本格的に着手。平成二十年十月末までに全体の約八五割が完了しています。早期復旧をめざして、夏季海水浴シーズンにも工事を行ったことから、地域のみなさん・観光客のかたにたいへんご迷惑をおかけしましたが、そのおかげをもちまして工事は順調に進んでいます。

完成は、平成二十一年度中を予定しておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

「後ヶ浜海岸防潮護岸」復旧工事

に関するお問い合わせ先
京都府丹後広域振興局 農林商工部
農林整備室森林整備担当
（☎六二一四三二六）

元公立小学校長

故泉 勇雄さん（丹後町間人）
正六位に叙されました

元小学校長の故泉勇雄さん（丹後町間人）が、「正六位」に叙されました。

泉さんは、昭和十四年三月の京都府間人町実業青年学校助教諭を振り出しに、四十年間の永きにわたり教育現場において優れた教育実践を積み、大きな功績を残されました。

特に昭和四十五年からの九年間は校長として、教育に対する誠実で強い情熱と豊かな識見、また豪胆な人柄と精動で卓越した指導力により、赴任先のそれぞれの学校教育環境の整備や教育力の向上のため献身的な努力を続け、大きな足跡を残されました。

また、昭和五十一年五月からの十七年間にわたり、丹後町社会教育委員として社会教育の発展にご尽力されるとともに、昭和五十五年四月からの八年間は丹後町選挙管理委員会委員長を、また昭和六十三年四月からの十三年間は丹後町明るい選挙推進協議会会長を歴任。社会教育の振興や公正な選挙行政の推進など、その功績が高く評価され叙されました。



故 泉 勇雄 さん

元公立中学校長

故田中 穰さん（峰山町鱒留）
従六位 瑞宝双光章を受章

元中学校長の故田中穰さん（峰山町鱒留）が、「従六位 瑞宝双光章」を受章されました。

田中さんは、昭和二十五年八月の京都府竹野郡組合立間人中学校助教諭を振り出しに、三十二年間の永きにわたり教育現場において優れた教育実践を積み、大きな功績を残されました。

特に昭和五十年からの八年間は校長として、教育に対する並々ならぬ情熱を一心に学校教育に捧げ、地道で実践を重視した取り組みを積み重ねるとともに、卓越した指導力を発揮。その誠実で温厚な人柄から多くの人望を集めるとともに、学校教育の進展に大いなる力を発揮されました。

加えて、校長退職後は、地域の自治会活動に積極的に勉められ、昭和六十年代からの二年間は五箇財産区管理会委員として自治会財産管理のため尽力。また昭和六十二年から二年間、鱒留区長として地方自治の振興に寄与されるなど、その功績が高く評価され受章されました。



故 田中 穰 さん

医療の充実や

市立病院の経営改善に向け

市医療改革改善推進会議として
意見書を提出

市では、京丹後市医療対策審議会から平成十八年三月に提出された答申を踏まえ、持続的に市立病院の経営改善等を進めることを目的に、同年十月から京丹後市医療改革改善推進会議（笹野満会長）を設置し、市の医療の充実や市立病院の経営改善について専門的な立場から検討いただいています。

この度、当推進会議から、二年間の審議の総まとめとして、「意見書」をご提出いただきました。

この間、平成十九年十二月には、総務省から「公立病院改革ガイドライン」が通知され、二つの市立病院に対して公立病院改革プランの策定が求められました。

当推進会議が議論してきたものと改革プランは、概ね同じ内容を含んでいるものの、将来見通しの期間については、改革プランでは、まず三か年での経営改善をめざす短期的なものであるのに対し、当推進会議は、さらに長期的な視点での検討も行っていたとしています。

意見書では、具体的対策として、「経営形態について」、「二病院のあり方について」、「情報公開について」、「救急医療について」、「開業医の増加施策について」、「看護師の確保対策について」をご提案いただいています。

市では今後も引き続き、病院経営の健全化に向けて取り組みます。

配置委員より 再配置を協議 小・中学校の

学校再配置検討委員会では、十二月の答申に向けて、市内小・中学校の再配置について検討を行っています。九月三十日に峰山庁舎で行われました第八回学校再配置検討委員会では、弥栄町・久美浜町の小学校の再配置について重点的にご意見をいただき、その後、小学校と中学校の再配置全体を通してのご意見をいただきました。

弥栄町

- ・学力調査で、東北地方の学校の結果がよかったようだが、それはクラス編成の仕方が違うということで、ある程度の人数がないと東北地方のような取り組みもできない。

- ・耐震・増築などについて、教育委員会として方法や費用などのシミュレーションをしているのか。

- ・許されるなら新築がいい。

- ・通学の問題もあり、地域と一体となった学校づくりが必要。

- ・鳥取小学校を活用するのがよいのでは。

- ・（過去の例で）学校の跡地利用は簡単なことではないので、管理に必要な財源を確保してほしい。
- ・学校の跡地利用は、地域ががんばらないと行政はしてくれなかった。

- ・統合した場合、保護者の駐車場も確保する必要がある。
- ・今後どのようなペースで再配置が進むのかわからないが、一校にする前に二校でスタートしてはどうか。

久美浜町

- ・分科会では賛否両論あったが、再配置はやむなしということになった。

- ・久美浜は、地域が広いこと

- ・と人数が少ないという問題がある。広さと人数による基準のようなものはないか。
- ・広いのに一校にして大丈夫か。地域性も考慮して二、三校でできないか。
- ・一校にする案が出ているが、もう少し出生数が増えて二校になればいいが。

- ・一校では通学区域が広すぎるし、クラブ活動にも支障を来すことになる。

- ・一校になると友達の家遊びに行くにも親が送るなどしないといけない。

- ・久美浜は小・中一貫校でお願いしたい。

小学校全体を通しての意見

- ・学校の跡地利用については、まちづくり委員会でも検討しなければいけない。今後、地域とのコンセンサス（意見の一致）をどうとつていくのかが重要となる。

- ・小学校がどこになっても子どもたちはすぐに慣れると思うが、通学の安全だけは確保してほしい。

- ・一校にする案は峰山町・弥栄町・久美浜町で、大宮町

- ・は現状維持、丹後町・網野町は二校から三校へという方向に思える。大宮の第三小学校は人数で見ると再編の対象になるかもしれないが、人数だけで割り切ることはやめていただきたい。
- ・今の中学校の配置が、今後の小学校の再配置図になるのかと思う。

- ・人数、地域、面積などいろんなことで考えるべき。

- ・丹後町は峠があるので、人数だけの判断は無理。

- ・今の子どもは歩くことが減っている。子どもが歩いて通学することは大切。

- ・落ち着きのない子、人の目を見て話が聞けない子が増えており、鉄筋より木造建築のほうが落ち着いた子どもが育つという話があるので、新築の場合、木造の校舍を希望する。

- ・いじめや不登校のない学校づくりを。

- ・子どもは子どもたちの中で揉まれて育つ。

- ・不登校の子どもは、コミュニケーションのとれない子どもが多いと思う。

- ・子どもにとつてよい環境がつくられれば、親も子どものために努力できる。

中学校全体を通しての意見

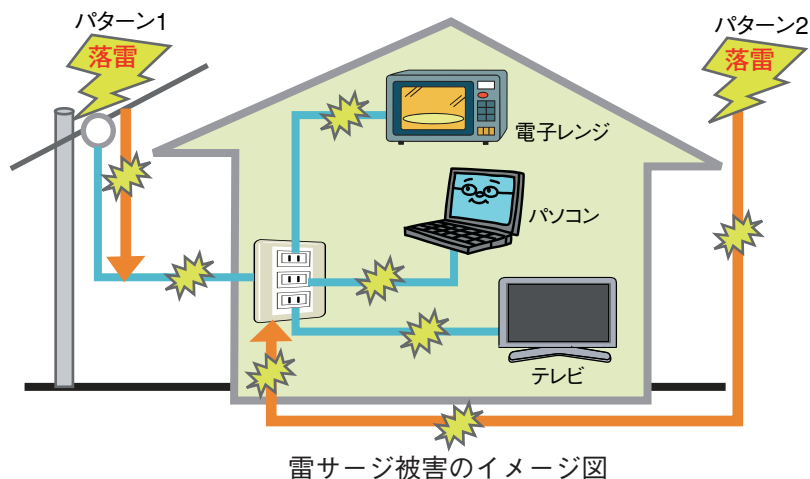
- ・中学校はほとんどの町が一校であり、網野町は二校、丹後町は宇川中学校が五年後の生徒数では成り立たなくなるのではないか。

- ・間人中学校、宇川中学校の両校とも、土石流の危険地域に指定されている場所にあるので、安全な場所へ新築しての統合をお願いしたい。

- ・スクールバスは、距離も関係するが、実際に家を出てから学校に着くまでの時間も考えないといけない。

次回は、今までの協議内容のまとめを事務局で作成し、委員のみなさんにご意見をいただきながら答申案の作成に取り組んでいきます。

今後、学級人数、複式学級、通学方法、通学距離、冬季の積雪、地域との連携などの課題を整理しながら、子どもたちにとってよりよい教育環境となる再配置が提案できるよう、十二月の答申に向けて、引き続き協議が行われます。



雷サージとは
雷サージとは、落雷などの雷現象で発生する有害な過電圧や過電流のことです。またサージは「衝撃波」という意味ですから、雷サージは「電気の津波」とも言えます。

この雷サージが屋内に引き込まれている配電線を伝って電気製品などに侵入し、機器の弱い部分を破壊したり、火花を発生させ火災などの雷の被害を引き起こす原因となります。

雷サージとは

留守中の住宅において、上空の雷雲から発生した雷が、火災現場付近に落雷した際の主放電から分岐した放電が、その住宅の民家の屋根にあるテレビアンテナに落ち、雷電流が同軸ケーブルからテレビに流れ、テレビから出火した。

火災事例 2

火災事例 1
架空配線に落ちた雷の異常電圧が、屋内に引き込まれている配電線に進入し、さらに保温状態で通電されていた電気炊飯ジャーのコードに進入し、炊飯ジャーのヒーター部分に火花を発生させ、被覆のはがれた部分が赤熱状態となり、この熱が炊飯ジャーの下に敷かれていた布巾に伝導着火した。

火災事例 1

近年の屋外レジャーの活発化や、パソコンやデジタル放送対応テレビなど高価で精巧な製品の普及により、人や建物、電気製品への落雷被害は多種多様となってきました。

落雷は自然の産物であり、雷の発生を防ぐことはできません。しかし、「雷に対する正しい知識」を持つことにより、被害を未然に防いだり軽減することは可能です。

みなさんの大切な命や財産を守るため、レジャーなどで外出される場合は事前に天気予報を調べ、また建物や電気製品には必要な対策をとっておくなど、普段から注意するよう心掛けてください。

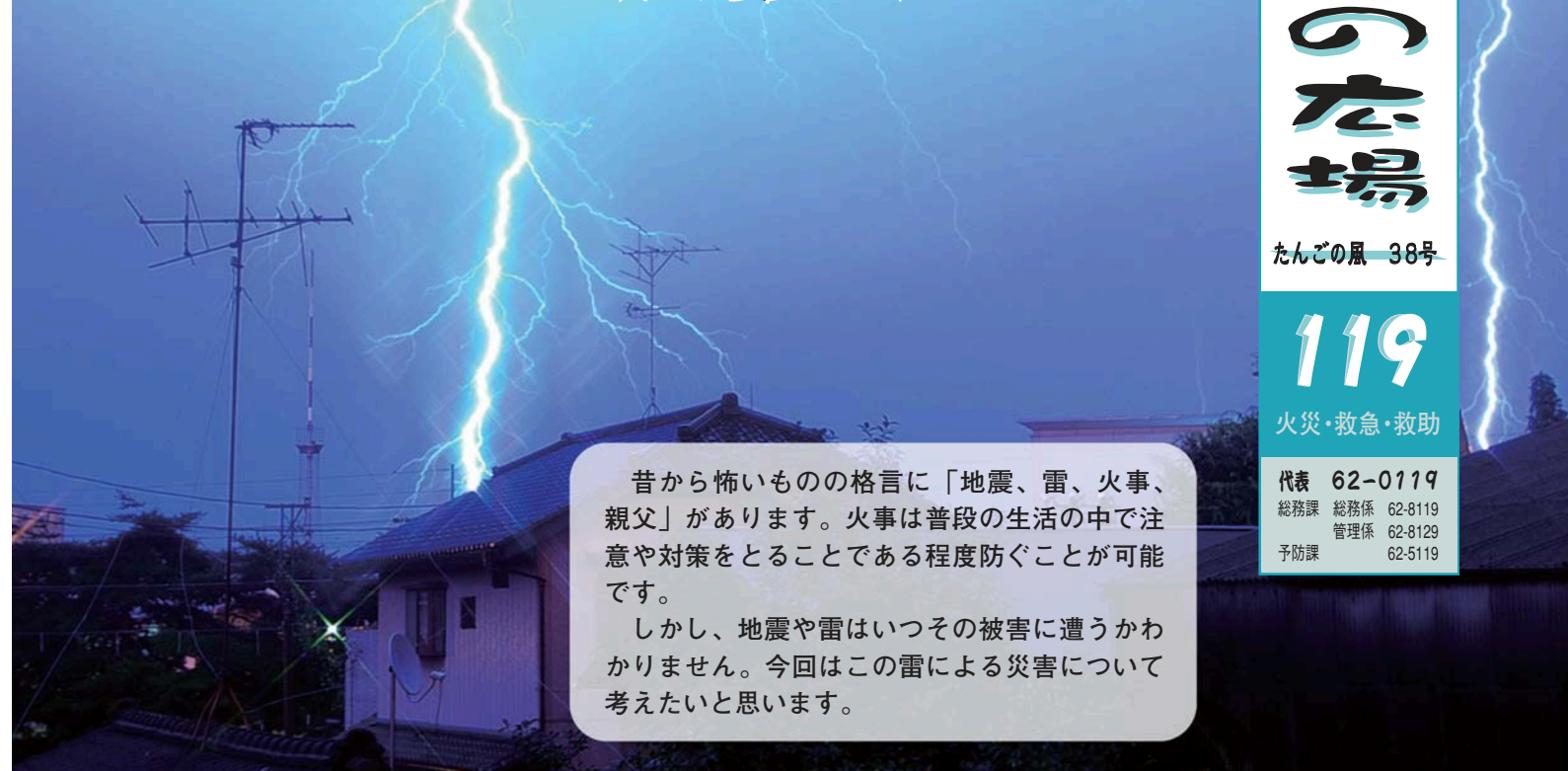
落雷被害を減らすために
近年の屋外レジャーの活発化や、パソコンやデジタル放送対応テレビなど高価で精巧な製品の普及により、人や建物、電気製品への落雷被害は多種多様となってきました。



雷サージ対策
家庭などで雷サージによる電気製品などの故障を防ぐために、雷が聞こえたときは、電源ケーブルや電話線をコンセントから抜いておくことが望ましく、また被害を軽減するための、サージプロテクターというコンセント型の器具なども販売されています。

雷サージ対策

落雷 ~自然災害に備える~



昔から怖いものの格言に「地震、雷、火事、親父」があります。火事は普段の生活の中で注意や対策をとることである程度防ぐことが可能です。

しかし、地震や雷はいつその被害に遭うかわかりません。今回はこの雷による災害について考えたいと思います。

消防の広場

たんごの風 38号

119

火災・救急・救助

代表 62-0119
総務課 総務係 62-8119
管理係 62-8129
予防課 62-5119

冬の風物詩

雷は一般的には夏の気象現象ですが、日本海側では、冬の季節風にとまなう降雪のときに多く発生します。この雷は「雪おこし」といったり、寒ブリの獲れるころの雷という意味で「ブリおこし」とも呼ばれています。

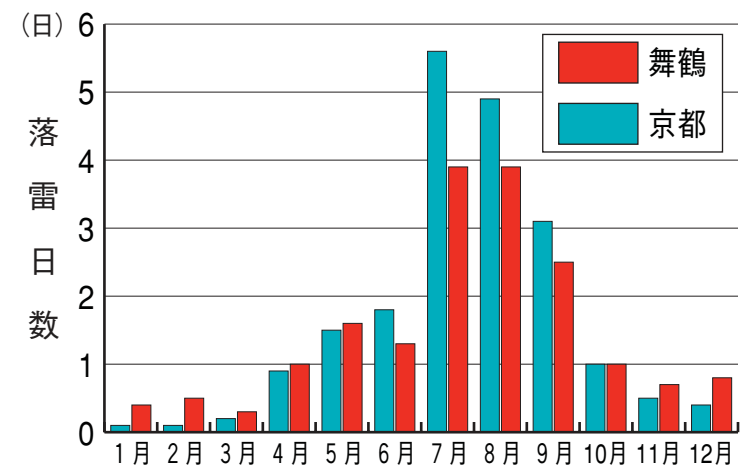
丹後では冬の風物詩ともいえる雷ですが、なぜ冬に雷が発生するのでしょうか。

雷のメカニズム

雷は発達した積乱雲から発生します。十二月〜三月上旬ごろ、日本海側ではシベリアからの冷たい季節風が日本海を渡り日本列島へと向かいます。このとき日本海は、対馬暖流の北上により比較的暖かく、水蒸気の補給源となっており、雲は移動しながら上昇気流の影響を受けて、日本海側の沿岸に近づくころには積雲から積乱雲へと発達します。そして、日本海側の各地に降雪とともに落雷をもたらします。

京都と舞鶴の落雷日数（平年値）を比較した下図では、夏季は午後から夕方にかけて発生が多く、内陸部の京都、日本海側の舞鶴ともに一年のうちで最も多い時期となっています。

一方、冬季は対馬暖流の影響で暖かい日本海と、シベリアからの冷たい季節風により発達した積乱雲のため、日本海側で多く発生しています。



ゴロゴロは危険信号

落雷に遭わないためには、まず天気予報などで雷の発生しやすい気象状況を知ることです。「大気の状態が不安定」と聞いた日は、特に注意が必要です。雷の研究者によると、一番危険な空間は屋外で、山頂や屋上などの高い所や、運動場などの広い所からは早めに離れることと、一般的には、建物内や自動車の中など電気を通すものに囲まれた空間にいれば安全なので、ゴロゴロと雷鳴が聞こえたら、直ちに安全な場所へ避難すべきとされています。



冬を前にして



救急救命士
薮下 茂幸

十一月に入り、冬はもう目の前です。日本ではインフルエンザの流行期間は十二月〜三月です。みなさん予防はされていますか。

風邪とインフルエンザは違う病気です。風邪は喉や鼻から調子が悪くなりますが、インフルエンザは急に三十八度から四〇度の高熱が出ます。気管支炎や肺炎などほかの病気も呼び込みやすい危険な病気です。お子さんや高齢者のかたなど抵抗力の低いかたは合併症を起こしやすいと言われています。

インフルエンザにかからないための方法のひとつが予防接種を受けることです。ワクチンの効き目が現れるまで二週間ほどかかります。冬を迎える前に予防接種を受けておけば効果的です。最近では、「エチケットマスク」という言葉も耳にするようになりましたが、予防のためだけでなく、人にうつさないようにすることも大切です。

二十世紀に何回も大流行しているインフルエンザは、過去に「スペイン風邪」といわれた大流行で、世界の人口の半数がかかり、二千万人以上が死亡した記録もあります。京丹後市や自分の住んでいる地区から流行させないためにも、みなさんでインフルエンザを予防しましょう。

火災時の
煙を体験できる

「煙体験ハウス」を整備

地域の防災訓練などで
ご利用いただけます

お問い合わせ先

京丹後市消防本部 (☎ 62-0119)



煙体験ハウスで煙の恐ろしさを体験

市消防本部では、財団法人日本防火協会の助成を受け、防火防災訓練用資器材（煙体験ハウス・スモークマシン）を購入・整備しました。

火災で亡くなられるかたの多くは、煙に巻かれて亡くなる 경우가多く、この煙体験ハウスでは人体に無害な煙を使用することにより、実際の煙の恐ろしさを体験し、より実効性のある避難訓練を行うことができます。九月二十三日に開催された「与謝野町・京丹後市女性消防団交流会」で訓練体験した女性団員からは「煙の中では思った以上に周囲が見えにくかった」、「多くの人にこの訓練体験をしてもらいたい」などさまざまな感想が聞かれました。

市消防本部では、今後、機会をとらえてできる限りさまざまな場所でも、より多くの市民のみなさんに体験いただき、一層の住宅用火災警報器の普及促進と防災意識の高揚に努めたいと考えています。

公民館など地域や団体の活動でも「煙体験ハウス」をご利用いただけます。希望される場合は、市消防本部へお問い合わせください。

「煙体験ハウス」の購入は、財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入を財源として、民間防火組織などの育成強化を図るための助成を行い、災害に強い安全な地域づくりを推進することにも、宝くじの普及広報を行うことを目的としています。

地域 防災

地域の安全、地域の力で

自主防災組織の設立を支援します

大地震などの大災害では、多くの家屋の倒壊や火災が同時に発生します。また、大雨による土砂災害や道路冠水が多発すると、消防団や消防署などの防災活動が間に合わない場合がでてきます。そのような場合に備え、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感のもとに、自主的に結成されたのが「自主防災組織」です。

自主防災組織の役割は、災害発生時における消防団と連携した防災活動はもとより、高齢者や身体の不自由な人などの避難所への誘導など



訓練で土のうづくりを行う
是安自治区自主防災会のみなさん

さまざま。地域防災においてとても大きな力となります。市では、災害に強い地域づくりを進めるうえで、自主防災組織の設立を各区にお願いしています。

市内で六十五組織が活動

市内には、現在六十五の自主防災組織が結成・活動されています。活動を行ううえで必要な、ヘルメットや担架などの資機材を自主防災組織が購入する際、市では、経費の二分の一（最高額で八万円）を補助する制度も用意しています。この補助金を活用していただくには、組織の会則を定めるとともに、役員や活動内容を決めていただくことが必要です。組織の結成に向けたご相談などは、総務課（☎ 六九一〇一四〇）または各市民局市民福祉課へお気軽にご相談ください。

十一月九日～十五日は、全国で秋の火災予防運動が展開されます。この機会にぜひ、家族や地域で防火・防災について話し合ってみてはいかがでしょうか。

交通事故のないまちづくりに向けて

交通安全の取り組み

京丹後市の交通死亡事故は、平成二十年十月末現在で六件発生しています。平成十九年の一年間の交通死亡事故は七件発生しており、依然厳しい状況が続いています。

一方、近年の交通事故は、高齢者のかたが運転され相手へのけがを負わせる事故が増えており、事故の特徴として、高齢者のかたの歩行中の事故が多く発生しています。

そのような中、市では、高齢者のかたを対象とした交通安全教室を行うとともに、市内の交

通安全施設の再点検などを行っています。

また、PTAや地域で組織されている「見守り隊」のみなさんなどもさまざまな交通安全の取り組みを行っています。

今回は、京丹後市交通安全対策協議会の活動の一部と、弥栄町吉野小学校区の地域のみなさんの取り組みをご紹介します。みなさんも一人ひとりが「交通安全は自分が主役」であることの認識をさらに深めていただき、京丹後市から交通事故をなくしましょう。

「秋の交通安全

キャンペーン」

市内の交通事故の防止と交通安全意識の高揚を図るため、九月二十一日から三十日までの十日間、「平成二十年秋の全国交通安全運動」が実施されました。同運動の一環として、初日に丹後あじわいの郷で行われた「第七回ちりめん丹後夢よさこい」の会場で、「秋の交通安全キャンペーン」（主催・京丹後市交通安全対策協議会）を行いました。当日は、約二百人の親子連れなどが参加し、交通安全教室や交通安全クイズを



自転車ですラローム走行を
することの危険性を体験

はじめ、交通安全啓発グッズなどを配布しました。交通安全教室の自転車運転コーナーでは、実際に自転車ですラローム走行などをして自転車の安全走行についての体験学習をするなど、さまざまな交通安全キャンペーンブースで多くのみなさんに交通事故の撲滅を訴えました。

案山子が現れる「弥栄町吉野小学校区」

秋の行楽シーズンを迎え、弥栄町の国道四八二号も交通量が増えています。近年、市内でも交通事故が増加していることを受けて、吉野小学校区の福祉委員のみなさんと子供会のみなさんが、子どもや高齢者のかたなどの交通弱者をいたわる心を持って自動車やバイクなどを運転し、秋の丹後路を安全に楽しくドライブしていただくという思いを込めて、交通安全のたすきをかけたユニークな案山子十二体を作製しました。

吉野小学校区のみなさんの交通安全に対する熱い気持ちがかもった案山子が市民のみなさんの安全を願っています。

国道482号弥栄町吉野交差点付近の案山子
12体がさまざまな表情で通過する自動車な
との交通マナーを見えています



人権啓発映画会

入場無料！
(先着順230席)

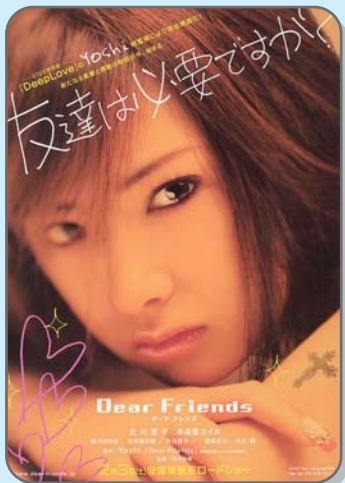
定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

日時 12月13日(土) 18:00～(開場17:00～)

場所 アグリセンター大宮(大宮町口大野)

お互いを認め合うことや思いやりの気持ちの大切さなど、人権の尊重について考えていただく「人権啓発映画会」を開催します。

上映作品は、『ディア フレンズ』(原作:Yoshi 監督:両沢和幸 主演:北川景子・本仮屋ユイカ)です。ご家族、お友だちをお誘いのうえ、ぜひご来場ください。



主催 京丹後市
協力 京丹後市教育委員会
京丹後市人権啓発推進協議会
お問い合わせ先
市民課 (☎ 69-0210)

『ディアフレンズ』

ケータイ小説ブームをつくった「Deep Love」で、女子中高生のカリスマとなった人気作家・Yoshiの原作による青春ドラマ。利用価値でしか人間関係を図ることのできなかった自己中心的なヒロインが、がんを告知されたことで人間の弱さや無償の愛、そして友情の意味に目を向けてゆく。主演は「ワイルド・スピード×3 TOKYO DRIFT」でハリウッドデビューを果たした北川景子。がん治療で心身ともにボロボロとなってゆくヒロインを熱演した。共演にはテレビ小説「ファイト」の本仮屋ユイカ、「仮面ライダー THE FIRST」の黄川田将也。

ふるさと京丹後を応援してください



寄付金のお申し出をいただく際には、“ふるさと京丹後”を元気にするための次の「ふるさと応援事業」の中から、特に応援したい事業をご指定いただくことができます。

1. にぎわいのふるさと応援事業
2. 環境のふるさと応援事業
3. 健康と福祉のふるさと応援事業
4. 未来を拓く子どもを育むふるさと応援事業
5. 市民協働と生涯学習のふるさと応援事業
6. 安心のふるさと応援事業

詳しくは、市のホームページ
(<http://www.city.kyotango.kyoto.jp/shisei/furusato/furusatonozai/main.html>)をご覧ください。また、企画推進課(☎69-0120)へお問い合わせください。

ふるさと納税って?

「ふるさと納税」は、ふるさとを応援したい、ふるさとに貢献したい、という気持ちを持つ納税者が、任意の都道府県・市区町村に寄付を行った場合に、本来自分が住んでいる自治体に納めるべき税金から、寄付金控除(上限があります)を受けられる寄付金税制の通称です。

をいただいた市外在住のかたは、入団費無料で「京丹後ふるさと応援団」に一年間ご加入いただけるよう制度の見直しを行いました。ご家族やご親戚など、市外在住のお知り合いのかたに、「ふるさと京丹後」の応援にご参加いただくよう、ぜひお呼び掛けをお願いいたします。

京丹後ふるさと応援団通信 ⑤

まちの情報

京都府丹後文化会館イベント情報 お問い合わせ先 ☎ 62-5200

桂三枝の笑ウィンドウツアー2009 ～創作落語独演会スペシャル～



◎場 所…京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
◎公演日…平成21年1月17日(土)
◎時 間…18:30開演(18:00開場)
◎入場料…一律 4,000円(当日4,500円)
(全席指定)※未就学児の入場はご遠慮ください
※前売券は各プレイガイドで11月10日(月)から発売予定
◎主 催…京丹後市・(財)京都府丹後文化事業団

丹後映画大好き劇場NO.17「まぼろしの邪馬台国」



◎場 所…京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
◎上映日時…来春上映予定

貞松・浜田バレエ団特別公演 京都府地域における舞台芸術振興・次世代体験推進事業

「くるみ割り人形」

京丹後文化のまちづくり実行委員会では、貞松・浜田バレエ団特別公演「くるみ割り人形」を開催します。

「くるみ割り人形」は、クリスマスの時期の風物詩として世界中で愛されているバレエで、お子さんから大人のかたまで、また初めてバレエを見るかたにも、楽しんでいただける内容となっています。

チケットは丹後文化会館をはじめ、各プレイガイドで発売中ですので、ぜひお買い求めのうえご鑑賞ください。



日 時 12月7日(日)
開場 14:30 開演 15:00
(終演予定 17:15)

場 所 京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)

入場料 (全席自由/税込み)
一般 3,000円
高校生以下 1,000円
※当日各 500円増
※未就学児のかたの入場はご遠慮ください。

出演者 クララ: 安原 梨乃さん
くるみ割り人形: 弓場 亮太さん
お伽の国の女王: 廣岡 奈美さん
お伽の国の王: アンドリュー・エルフィンストンさん
ロッセルマイヤー: 貞松 正一郎さん
ほかバレエ団総出演

演 目 「くるみ割り人形」お伽の国バージョン
【全2幕8場】

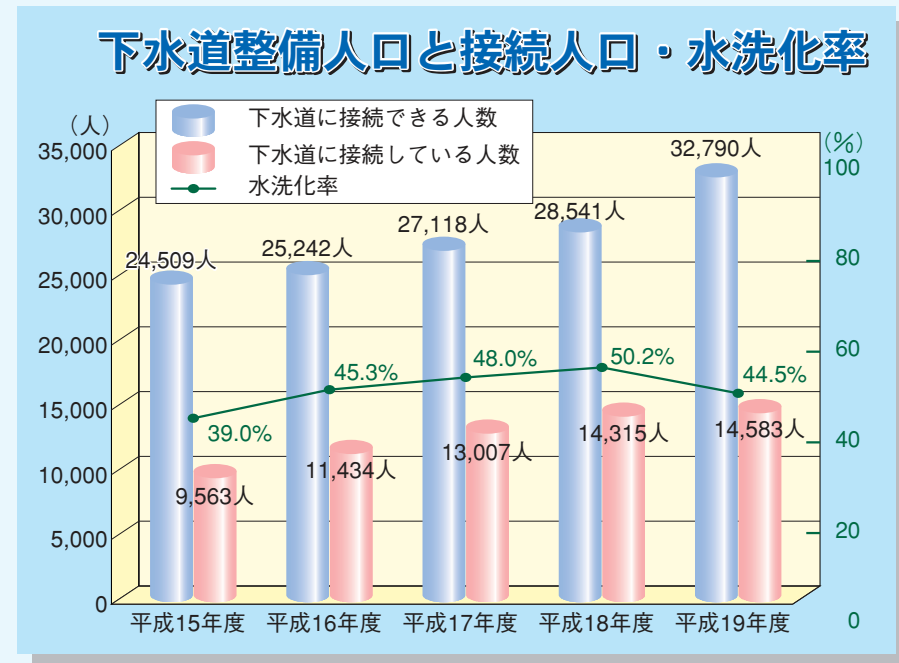
お問い合わせ先 京都府丹後文化会館(☎62-5200)

▼**多くのかたの接続を**

下 水道事業は、「公共下水道・特定環境保全公共下水道事業」、「集落排水事業（農業・漁業）」、「浄化槽市町村整備推進事業」があり、いずれの事業もそれぞれの特別会計で、独立採算となつて

平成十九年度末で、計画人口のうち、どれくらいのかたが下水道を利用できるようになったかを示す「整備率」は五五・〇割。下水道を利用できるかたのうち、実際に下水道に接続しているかたの割合を示す「水洗化率」は四四・五割です。整備率は、府内でも下位に位置し、近隣市町の中でも二番目に低いものとなっています。

に策定した「京丹後市水洗化計画」に基づき下水道整備を行つており、平成三十七年度の全市水洗化をめざしています。同計画では、建設費や施設の維持管理の経済性を考慮するなどして、下水道や集落排水施設による「集合処理区域」と、浄化槽設置による「個別処理区域」に分けて水洗化を図ることとしています。



います。しかし、現在のところ、計画人口のうち半数は下水道に接続することができないにもかかわらず、実際に接続されているのは、整備人口の半分にも満たない状況です。このように、水洗化が思うように進まないため、使用料収入もな

かなか増加しない状態となっています。このため、各事業とも施設の維持管理費・下水処理費用を使用料収入でまかなうことが厳しい状況にあります。また、下水道工事の費用は、国の補助金と起債（借金）でまかなっています。起債の償

	計画人口	整備人口	整備率	接続人口	水洗化率
平成15年度	44,311人	24,509人	55.3%	9,568人	39.0%
平成16年度	56,367人	25,242人	44.8%	11,434人	45.3%
平成17年度	55,622人	27,118人	48.8%	13,007人	48.0%
平成18年度	56,521人	28,541人	50.5%	14,315人	50.2%
平成19年度	59,623人	32,790人	55.0%	14,583人	44.5%

整備率…計画人口のうち下水道の利用が可能な人の割合【整備人口÷計画人口】
水洗化率…整備人口のうち実際に下水道に接続した人の割合【接続人口÷整備人口】

「下水道接続」に関するお問い合わせ先

京丹後市上下水道部下水道課（☎69-0550・FAX72-3602）
Eメールアドレス gesuidou@city.kyotango.kyoto.jp

ます。また、昨今の厳しい財政状況により一般会計から多くの繰入金は見込めません。独立採算を成り立たせたせ起債の償還を確実に行うためには、多くのかたに下水道に接続していただくしか方法はありません。供用開始区域にお住まいのかたで、未接続のかたは、この機会にぜひ接続いただきますようお願いいたします。

この制度では、公共下水道、集落排水事業の供用開始区域のかたおよび浄化槽市町村整備事業の対象区域のかたが対象。既存住宅を新規に下水道に接続するため、市内に本店または本社を置く排水設備指定工事業者を

市では、昨今の厳しい経済状況に対し、市民生活を守るとともに、地域経済の再生・支援に向けた取り組みを緊急的に行うため、昨年六月に「京丹後市地域経済再生・支援緊急対策本部」を設置。建設業や織物業の経営革新支援などの事業を行っています。

このたび、地域経済の活性化を図ることと既存住宅の水洗化の促進支援を目的に、既存住宅の排水設備工事を行うかたに最高三万円の補助金を交付する制度を創設しました。予算総額は千二百万円で、今年の四月以降に下水道に接続したかたが対象となります。

利用して既存住宅を水洗化する場合に、最高で三万円の補助金を交付するものです。また、店舗併用住宅であつても、店舗の床面積が総床面積の二分の一未満の場合は、この制度の対象となります。ただし、既に下水道などに接続されている建物で排水設備を増設される場合や、新規接続であつても新築の建物など、対象と

今回の制度創設にあたつては、平成十九年八月に市上下水道審議会に対して、「下水道への加入促進の方法の一つとして水洗化工事に係る費用負担軽減のための助成制度の創設」について諮問しました。同年十一月二十二日

ならない場合があるのでご注意ください。

補助を受けるには申請が必要です。排水設備工事の完了検査を受け合格した後、申請書に住宅所有者とその世帯員の住民票、工事費支払領収書（工事明細のわかるもの）、工事完成写真添えて、市役所へご提出ください。



水洗化されると、水路や河川などに汚水が直接流ることがなく、環境にやさしく衛生的です

に「諮問のあつた助成制度の創設により水洗化の促進が期待される」との答申を得たことから、水洗化の促進と地域経済の活性化を目的に、制度を創設したものです。

▼**水洗化で衛生的に**

下水道は「汚水をためることなく流せる」という働きがあります。下水道が整備されると、水路や河川などに汚水が直接流れず、害虫の発生や伝染病を防ぐこ

となり。また、下水道が整備されると水洗トイレの設置が可能になり、便槽が必要なくなることから、汲み取りの必要がなくなる原因になります。

市では、平成十八年九月

▼**水洗化率は44・5%**

排水設備工事に補助金

地域経済活性化を図る

今年4月以降の
下水道接続が対象

市民のみなさんの視点から市の仕事を評価

市の仕事「満足度」調査

市では、行政運営を進める中で「事務事業評価制度」を導入し、市が行っている仕事（事務・事業）について、その実施内容を評価・検証し、改善や見直しに結びつけようとしているところです。

この事務事業評価において、貴重な評価資料となるものが市民のみなさんの「満足度」です。税金を納めていただいている市民のみなさんの視点から、市の仕事の「必要性の度合い」と「使った金額の度合い」を評価していただき、

結果まとまる

「必要性の度合い」の調査では、「休日の救急患者の診療」、「母子の健康支援」といった、医療体制・制度に関する事業のポイントが高くなりました。これは、充実した医療環境の中で、安心して子どもを産み育てるための健康支援を市民のみなさんが特に望んでいる

「必要性の度合い」の分析（要旨）

「必要性の度合い」の調査では、「休日の救急患者の診療」、「母子の健康支援」といった、医療体制・制度に関する事業のポイントが高くなりました。これは、充実した医療環境の中で、安心して子どもを産み育てるための健康支援を市民のみなさんが特に望んでいる

アンケートの概要

- ◆調査期間…平成 20 年 6 月 27 日～7 月 15 日
- ◆調査方法…郵送によるアンケート（無記名方式）
- ◆調査事業…37 事業（京丹後市総合計画における 37 の計画項目の中から、項目ごとにそれぞれ 1 事業ずつを選出）
- ◆調査対象…無作為抽出の高校生以上の市民のみなさん 3,200 人（有効回答者数は 1,040 人、回収率は 32.50%）
- ◆調査内容…アンケートでは、37 事業に対する個別の「必要性の度合い」および「使った金額の度合い」を調査しました。

【回答の選択肢】

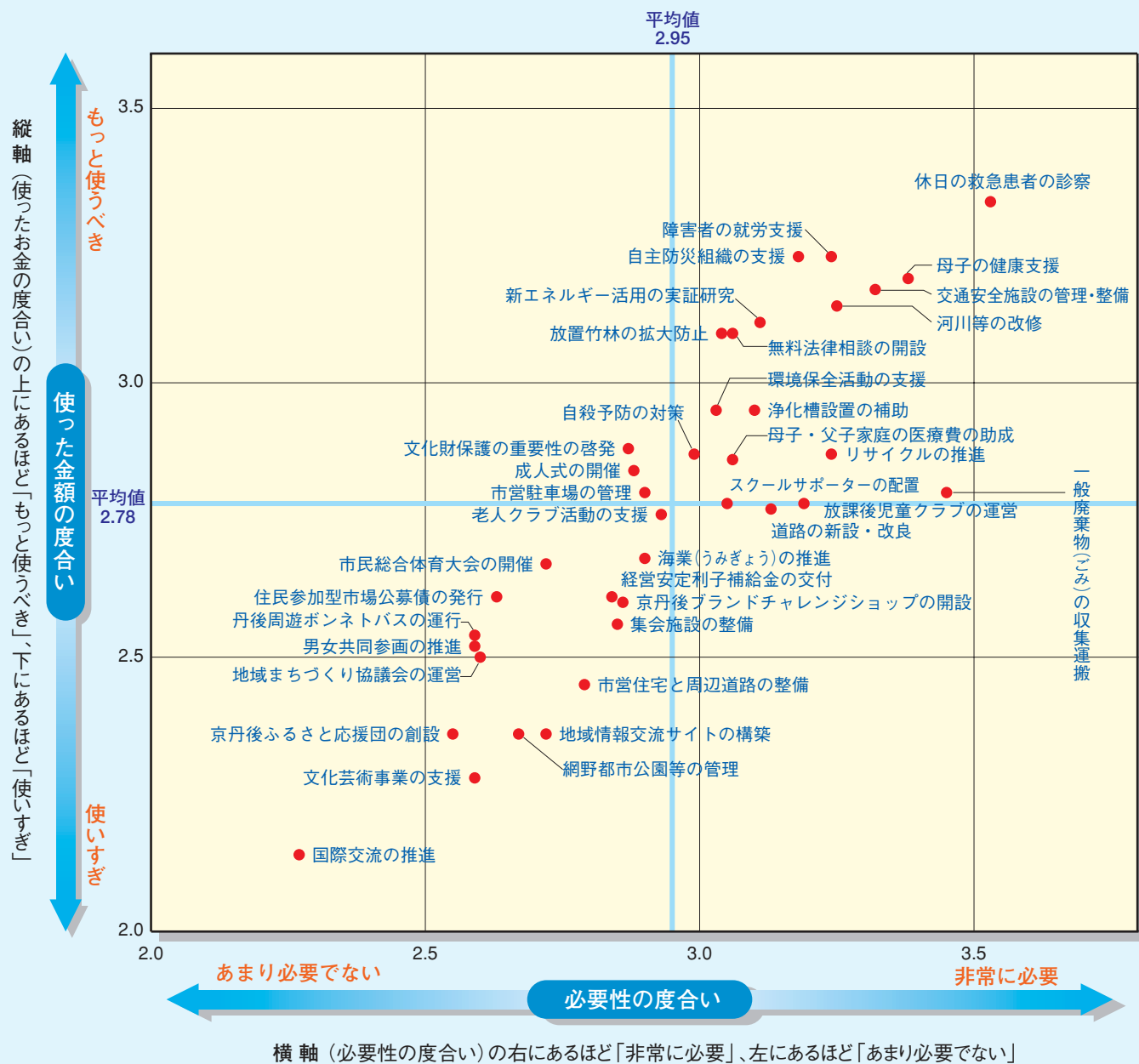
必要性の度合い

非常に必要…………… 4 ポイント
必要である…………… 3 ポイント
あまり必要でない… 2 ポイント
必要でない…………… 1 ポイント
わからない…………… 0 ポイント

使った金額の度合い

もっと使うべき…………… 4 ポイント
ちょうどよい…………… 3 ポイント
使いすぎ…………… 2 ポイント
税金を使う必要なし… 1 ポイント
わからない…………… 0 ポイント

「必要性の度合い」・「使った金額の度合い」散布図



しなやかに ストレッチ体操

印が伸ばしている筋肉です。

筋肉や関節をしなやかにする運動です。ゆっくりと呼吸に合わせて行います。息を吐きながらゆっくりと体を伸ばし、そのまま 10～15 秒保ちましょう。それぞれの動きを 5～10 回程度にし、少しずつ増やしましょう。

① 背伸び

- 両手を組み、ゆっくり頭の上へ。
- 脇をゆっくり伸ばすように背伸びをしましょう。
- 余裕があれば、手の平を返してみよう。



② わき伸ばし

- 息を吐きながら体を横に倒しましょう。
- ひじから脇にかけて気持ちよく伸ばしましょう。
- 左右とも行います。



③ 背中伸ばし

- 両手を組んで前へ伸ばす。
- おへそを見るようにして背中を丸めます。



④ 胸張り

- 両手を背中て組みます。
- 組んだ手を下へ引っぱって胸を張ります。



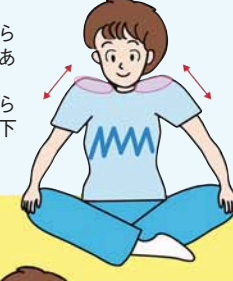
⑤ 首のストレッチ

- 片側に首をゆっくり倒していきます。
- 手を軽く頭に添えてゆっくりと気持ちよいところまで。
- 左右それぞれ行います。



⑥ 肩の上げ下げ

- 息を吸いながら両肩をグッとあがります。
- 息を吐きながらストンと肩を下げる。



⑦ 肩まわし

- 両肩をゆっくり前から後へまわします。
- 反対に後方から前へまわします。
- 背中の肩甲骨を動かしましょう。



⑧ 肩のストレッチ

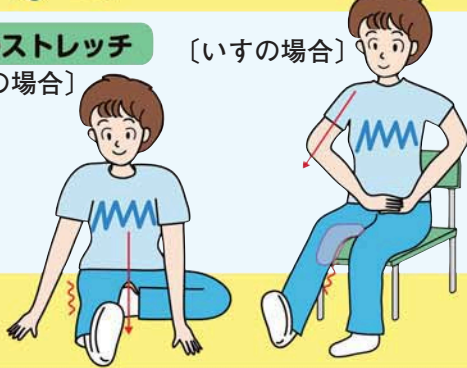
- 前に伸ばした腕を反対の腕で胸に引きよせます。
- 伸ばした腕の肩を気持ちよく伸ばします。
- 左右それぞれ行います。



⑨ ももの後ろのストレッチ

〔いすの場合〕

- 片方の足を伸ばし〔床の場合〕てかかとをつき、つま先を持ち上げます。
- 猫背にならないように腰から上体を前に倒します。
- ももの裏側をゆっくり気持ちよく伸ばします。



⑩ ももの前面のストレッチ

〔床の場合〕

- 横になって片方の足を後ろへ曲げます。
- ももの前側を気持ちよく伸ばします。



〔いすの場合〕

- 椅子に横向きに座り、片方の足の甲が地面をできるように後ろに伸ばします。



いすやマットを使った体操

印が伸ばしている筋肉です。

ストレッチで体をほぐしたら、体を支える筋肉を補強する運動をしましょう。動かしている筋肉を意識せず、痛みのあるときは無理せずできる範囲で行うか、中止しましょう。それぞれの動きを 5～10 回程度にして、少しずつ増やしましょう。

① かかと上げ/つま先上げ

- 親指側に体重をかけ、つま先で立ちます。
- ふくらはぎをきたえます。



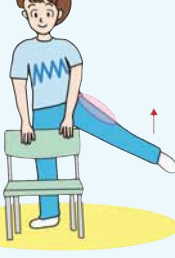
② スクワット

- 後ろのいすに座るつもりで 1、2、3、4 とおしりをゆっくり下げる。
- かかとに体重をかけて膝がつま先より前へ出ないようにします。
- ゆっくりと 1、2、3、4 と立ち上がります。



③ 足の横上げ

- いすの背もたれに手を置いて、体を支えて立ちます。
- つま先は正面を向けます。
- ゆっくりと片足を横に開いていき、元に戻します。
- 足を開く時に息を吐くようにします。



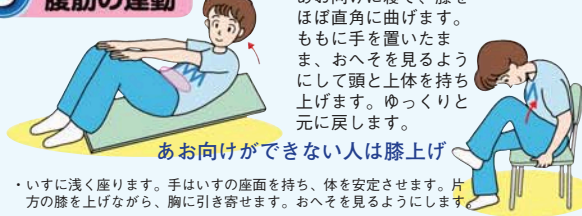
⑤ ボールはさみ

- 両膝で柔らかいボールなどを挟みます。
- 息を吐きながら、ボールをつぶしていくように力を加えます。
- ボールをつぶしながら、お尻をしめるとさらに効果的。
- 5 秒くらい保ちましょう。
- 骨盤底筋をきたえます。



⑥ 腹筋の運動

- あお向けに寝て、膝をほぼ直角に曲げます。ももに手を置いたまま、おへそを見るようにして頭と上体を持ち上げます。ゆっくりと元に戻します。
- いすに浅く座ります。手はいすの座面を持ち、体を安定させます。片方の足を上げながら、胸に引き寄せます。おへそを見るようにします。



⑦ 背筋・大臀筋の運動 左右共

- ① 背筋 マットのうづぶせに寝て、おでこを床につけたまま片足をゆっくりあげて、下ろします。
- ② 大臀筋 マットに横向きに寝て、膝を直角に曲げて、足を開くようにゆっくり上げて、閉じます。



④ その場足ふみ

- 片方のももを水平にして、4 秒保つ。
- さらにももを上げて 2 秒保つ。
- 体を後ろに倒さないでゆっくり動かしましょう。



つまづくことがありますか

毎日 8%

なし 27%

時々 65%

転倒への不安がありますか

ない 38%

ある 62%

運動するときは

- ① ご自分のペースでゆっくりはじめてください。運動の回数や強さは段階的に増やし、痛みや違和感を感じたら中止しましょう。
- ② 呼吸に合わせてゆっくり動かし、息をこらえて無理にのばすと、関節を痛めることとなります。
- ③ たくさんの運動を一度に行わず、できるものからはじめましょう。体調の悪いときは、無理せず思い切って中止するか、いつもより回数を減らしましょう。
- ④ 運動の前後、運動中は水分補給を必ずしましょう。のどの渇きを感じなくてもこまめにお茶か水で水分を摂りましょう。

あなたの声を市政に 「ご意見箱」

紙面の都合によりご意見を
どを一部割愛させていただきます。

Q 京丹後市建設業の低価格 競争について

京丹後市の建設業は過当な低価格競争により、疲弊（ひへい）混迷しています。このままでは若者が流出したり、建設業から離職したりで、この地域そのものが崩壊してしまいます。中央では、低価格調査基準モデルの改正により、調査基準価格を平均八〇から八二割に引き上げる動きがあります。京都市や京丹後市も至急に本改正を適用していただきますよう強くお願いします。

【無記名】

A 実情が適正に反映される よう努めていきます

中央公共工事契約制度運用連絡協議会の低価格調査基準モデルの改正は、情報として把握しているところです。また、国土交通省の平成二十年三月

Q 丹後保育所・幼稚園の新 設に伴う幼保一体化につ いて

丹後保育所・幼稚園の新設が決まり、幼保一体化に向けた新しい施設が建設されることになりました。同施設の建設は、画期的なことであり、特

三十一日づけ事務連絡によれば、国土交通省の直轄工事において、低入札価格調査基準を引き上げる方向で見直すとの内容は承知しています。今後とも、こうした国の状況を勘案し、京都市や近隣市町村の動向も注視しながら、本市の最低制限価格制度事務取扱基準のあり方について、問題意識を持ち続けてまいりたいと思いますし、実情が適正に予定価格や最低制限価格に反映されるよう一層努めていきたいと考えますのでよろしく願います。

【財産管理課】

色と魅力ある施設が誕生することを強く願っています。

さて、同施設が、どのような施設なのか、よくわかりませんので内容を少し教えてください。現在、このことについて、国の動向や京都府の実態はどのようななっていますか。保育所と幼稚園は制度上かなり違いがあります。ひとつ屋根の下にふたつを独立して併設するのですか。

相違点として、所管が保健福祉部と教育委員会、カリキュラムが保育指針と教育要領、指導者が保育士と教諭、園の保育時間、土曜日の扱い、保育料など、さまざまな点で違いがあります。どのような形で一体的な保育をするのですか。それとも規制が緩和されて、新制度では同保育が可能になるのですか。

当市にとって、なぜこの地域に同施設が建設され、保育所の建設ではないのですか。通園区域は、市内全域に及ぶのかといった市独自の課題もあるかと思っています。

同施設の建設は、先進的な初の試みであり、市民は関心をもつて見守っていることと思いますので、保育内容などの運用面を、準備万端整えていただき、子どもたちの幸せのために、特色と魅力ある施設になりましょう指導力を発揮してください。

今後は、市議会でも大きく取り上

げられていくと思いますが、どうか機会あるごとに計画の進捗状況などを市民に説明しながら、施設の建設を進めていただきますようよろしくお願いいたします。

【市内・男性】



平成21年4月の開所に向けて工事が進む
丹後保育所・幼稚園（丹後町間人）

A 保育と教育の一体的な運 営を行い、よりよい保育 を行っています

現在、丹後町で整備を進めています丹後保育所・幼稚園は、同一敷地内の同一建物内に幼稚園と保育所が同居する型の施設です。教育委員会と保健福祉部がそれぞれの施設を所管することとしておりますので、保

学校教育法に基づき就学前教育を行う「幼稚園」と、児童福祉法に基づき養護、教育を行う「保育所」の二つの制度において、少子化や共働き家庭の増加によりニーズが多様化していることから、平成十八年に「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が成立し、幼保の一体化施設として「認定こども園」制度がスタートしました。

また、国、府の動向については、学校教育法に基づき就学前教育を行う「幼稚園」と、児童福祉法に基づき養護、教育を行う「保育所」の二つの制度において、少子化や共働き家庭の増加によりニーズが多様化していることから、平成十八年に「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が成立し、幼保の一体化施設として「認定こども園」制度がスタートしました。

保育所は、家庭での保育に欠けることを入所基準としていますが、幼稚園は家庭などの都合によらず入園することができ、受入時間も保育所に比べて短くなっていますので、幼稚園、保育所での児童の過ごし方も異なってきます。また、保育所は保育指針、幼稚園は教育要領に基づき保育を行いますので、保育内容も異なる部分があります。市では一体化施設のメリットを活かし、午前中はカリキュラムを統一するなど保育所と幼稚園のよい面を取り入れた運営をしていきたいと考えています。

今年四月一日現在の認定こども園の設置数は、全国で二百二十九か所、府内では未設置となっていますが、幼稚園と保育所を一体的に整備・運営されている施設は府内にも複数箇所ありますので、そのような先進的な取り組みも参考にしながら運営内容を検討したいと考えています。

丹後町に幼保一体化施設を建設することとなった経緯については、平成十八年まで遡ることとなります。間人保育所は、建物の老朽化などにより移転を検討していた最中に間人保育所隣接地で土砂災害が発生し、間人保育所が危険箇所指定されたため、現在においてもこの地域の保育園児は代替施設（丹後地域公民館）での保育を余儀なくされています。

市では京丹後市保育所再編等推進計画に沿って、間人・竹野・豊栄地域の区長さんをはじめ、保育所の保



平成19年5月、第1回間人豊栄統合
保育所建設検討委員会

護者のみなさんなどとともに統合保育所と幼稚園の一体化施設の建設に向けた検討委員会を発足させ、施設や運営内容などについて検討をいただいているところです。幼稚園については、旧町ごとの設置を検討しています。保育所と幼稚園を併設して整備することで建設費や運営費の削減効果とともに、それ以上に保育と教育の一体的な運営が、幼児の総合的な成長のために有効であると考え、今回の間人・豊栄の統合保育所の建設に併せて幼稚園を併設した幼保一体化の施設を計画したものです。また、現在、市では峰山町と網野町に各一園の幼稚園を設置していますが、通園地域については、全市からの通園が可能となっています。

幼保一体化施設は、京丹後市で初めてのことであり、詳細な運営方法は検討委員会でご意見をお聞きしながら、今後とりまとめていくこととなります。何より、子どもたちにとってよりよい保育ができるように考えていきたいと思ひますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

【子育て支援課】

「ご意見箱」投稿に 際しておねがい

ご意見箱へお寄せいただくご意見には、お名前などの個人が特定できる部分やプライバシーに関わる部分を除き、すべてお答えすることとし、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただきます。

一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えすることとしています。ホームページには、個人情報に関するものを除き、随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確でいねいな回答をお返すように努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返すために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。

市立図書館 ご案内

「全国訪問おはなし隊」が峰山図書館を訪問

9月20日、たくさんの本を載せた全国訪問おはなし隊が峰山図書館にやってきました。京都府丹後文化会館前広場にキャラバンカーを設置し、峰山地域公民館を会場として読み聞かせを行いました。

当日は青空の下、開始時間前から親子のみなさんが多数来られ、キャラバンカーの見学やおはなし隊の隊長さんに絵本や大型紙芝居などの読み聞かせしていただきました。

キャラバンカーの中から自由に本を選び広場で読んだり、いつもと違った読み聞かせに子どもたちは真剣に聞き入り、楽しいひとときを過ごしました。



峰山図書館の「全国訪問おはなし隊」

読書の秋

読書の秋を迎え、図書館は多くの利用者でにぎわっています。

市立図書館では、市内小学校に対しても、「朝の読書」の時間などに利用していただけるよう団体貸出の取り組みを進めており、まとめて本を貸し出しています。また、読書旬間などの期間に学校からの依頼の都度、読み聞かせボランティアのかたの協力も得ながら、絵本の読み聞かせのほか、ブックトーク・ストーリーテリングなどを実施しています。子どもたちのおはなしを楽しむ様子、キラキラした真剣な眼差しに読み手側が感動することも度々あります。

「本は心の栄養」といわれています。秋の夜長、大人も子どもも、感動する楽しい本にめぐり合っていただけよう、各館でいろいろな本を取り揃えてお待ちしています。



図書館職員によるブックトーク

「科学あそび教室」を開催

あみの図書館では、子どもたちが物語だけでなく科学的な本にも興味を持つことを願い、毎年『科学あそび教室』を開催しています。今回は、9月21日に親子35人が参加し、「きみだけのまめスタンドをつくろう」というテーマで、豆電球を使ったかわいいスタンドをつくりました。リード線をつないだりねじったりする難しいところもありましたが、灯りがともったときにはみんなにっこり。子どもたちの周りには既成のおもちゃがあふれている中、科学に触れながらの作品づくりを楽しんでいただきました。



あみの図書館の「科学あそび教室」

「図書館ホームページ」をご利用ください

図書館システム統合と同時に市立図書館のホームページを開設しています。本の検索・予約などのほか、図書館だより・行事などのお知らせ・読み聞かせの案内などを掲載していますのでぜひご覧ください。

図書館のホームページは、京丹後市ホームページトップの「くらしのガイド」→「教育・文化・スポーツ」、または左下の「便利情報ダイレクト」→「京丹後市立図書館」からご覧いただけます。

図書館のホームページがよりいっそう親しみやすく楽しいページになるよう各図書館の窓口にご感想やご意見をお寄せください。

11月の休館日

10日(月)・17日(月)・24日(月)

12月の休館日

1日(月)・2日(火)・8日(月)

※休館日は、本紙発行日の11月10日以降、次号発行日の12月10日までを掲載しています。



10月から浅茂川地域でも運行、交通空白地の解消を図ります

国からも注目

このような中、十月一日、自民党政務調査会「国土交通部会地域公共交通小委員会」で、中山市長が「上限二百円バス」の取り組みを紹介しました。

全国的に路線バスの廃止・縮小が相次ぐ中、国土交通省が進める「地域公共交通活性化再生総合事業」を活用した本市の取り組みが、「路線バ

三年目となる「上限二百円バス」の実証運行が十月一日からはじまりました。

上限二百円バスは、「乗って喜んでいただける路線バス」をめざし、平成十八年十月一日にスタート。二年で乗車人員を倍増するとともに運賃収入も増加に転じるなど、多く

のかたのご利用に支えられ運行しています。

今年の十月からは、新たに浅茂川・長岡・善王寺・延利地域などでの運行を開始し、交通空白地の解消を図るため、一部路線を延伸して実証運行を拡充。さらに便利な公共交通をめざします。

ご利用ください
上限 200 円バス

運行地域を拡充し
三年目の
実証運行スタート



経路や運行ダイヤの詳細は、各戸に配布しています。京丹後市バス・鉄道・航空時刻表をご覧ください

ス再生の優れた事例」として同省から高い評価をいただいたもので、推薦を受けて自由民主党本部（東京都）で実施。思い切った低額運賃バスを運行するまでの経緯や住民ニーズ（要求）の把握方法などを紹介し、「上限二百円バス」の取り組みを発信するとともに、国などの支援の必要性を訴えました。委員のみなさんからは「路線バス事業者との協働により、住民本意で利便性を追及した優れた取り組みである」と高い評価をいただきました。

また、国土交通省から十月十四日には宿利国土交通審議官が、十七日には長田総合政策局長が本市を訪問。バスに試乗されるなど現地視察が行われました。

ますますご利用いただいています「上限 200 円バス」

峰山町よさこい連
「ふれんず」のみなさん

「丹後古代の里資料館」、
「てんきてんき村」、
「丹後庁舎のプラネタリウム」、
「立岩」を満喫



外国人観光客のみなさん

「丹後古代ロマン街道号（海岸線）」に乗車。
日本海の絶景マリ
ビューを堪能。

▼ 網野町公民館「網野町ウイークエンド事業」

「御旅市場」、「琴引浜鳴き砂文化館」、
「丹後庁舎のプラネタリウム」などを堪能



ラッピング車両
にも乗車



丹後庁舎で
プラネタリウム



バスの乗り方も学習

[喜ぼう！高齢化社会 喜ぼう！長寿社会]

百歳バンザイ!! 推進

第1回 健康大長寿のさとづくり 全国交流会

11月22日(土)
京丹後市で開催

提唱趣旨

高齢化社会の進展とともに平均寿命も延伸するなかで、高齢化社会の負の側面である社会的問題点や課題を取り上げ、行政機関などをあげてこれら解決を推進していくことがまずもって重要ですが、高齢化社会の負の側面の解決推進にとどまらず、むしろ高齢化社会の光の側面、高齢者のゆえに得られる喜びや宝に積極的に焦点をあて、「老いや長寿の中にこそある喜びや宝をもっともつと発見し、老いや長寿をますます喜び楽しむ」ことのできる地域社会の実現をめざしていくことが、とりわけ地域自治体の豊かなまちづくりの発展を臨むうえで今後いよいよ重要です。

そこで、京丹後市では、「百歳長寿バンザイ 健康大長寿のまち・京丹後市」を大きな特色としていくところですが、このような観点から、今般、健康長寿の推進に先進的また特色のある取り組みを進めておられる全国の地域、自治体、医学、保健等関係者に学び、交流の輪を広げ、そして必要な交換・連携をするなかで、わが国各地の特色ある百歳長寿、健康長寿の特徴を互いにさらに発展させるとともに、広く高齢者のみなさんの健康と喜びづくりに貢献し、生き活きとして老いや長寿それ自体をますます心から喜べる高齢化社会づくりに資するため、全国の関係者、自治体などと連携し、「第一回健康大長寿のさとづくり全国交流会」を開催します。

日 時 11月22日(土) 13:00～18:00
場 所 京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
内 容

- ビデオメッセージ 聖路加国際病院 日野原重明理事長
- 基調講演 (13:30～14:30)
講 師：名古屋学芸大学 井形昭弘学長
演 題：～夢の長寿社会～
- 基調講演 (14:30～15:00)
講 師：百二歳児・教育学者(しいのみ学園園長) 昇地三郎博士
- 実践報告 (15:00～15:30)
テーマ：「百歳バンザイ」健康長寿のまちづくりの取り組みについて(長野県佐久市)
- 本市内 100 歳以上の長寿のかた 64 人の特徴聴取結果および京都府最長寿者(京丹後市在住 111 歳 木村次郎右衛門さん)のインタビュー紹介

『健康大長寿』…百歳以上の長寿を指す造語

住民 のみなさん一人ひとりが、生涯にわたって、安心して、喜びと生きがいを持って生き活きと暮らすことができ、また、長寿の恵みそれ自体を心から喜べる社会の実現をめざします。

○パネルディスカッション (15:30～17:40)

テーマ：健康長寿社会の実現に向けて、いま求められていること

パネラー：総合人間研究所 早川一光所長

～健康で元気な老人になるために～

京都府立医大 吉川敏一教授

～老人力のための Successful Aging～

京都府丹後保健所 田中稔之所長

琉球大学観光産業科学部 平良一彦教授

～おばあに学ぶ 健康の皆の大切さ～

進 行：京丹後市立弥栄病院 安原正博院長

参加対象：全国の自治体関係者、医学、保健など関係者ほか

○そ の 他：今後の取り組みについて

後 援

厚生労働省、京都府、全国市長会、全国町村会、京都市市長会、京都府町村会、社団法人日本老年医学会、財団法人ライフプランニングセンター新老人の会、京都府社会福祉協議会、京都府シルバー人材センター連合会、京都SKYセンター、京都府栄養士会、京都府食生活改善推進員連絡協議会、京都府民生児童委員協議会、日本赤十字社京都府支部

お問い合わせ先 高齢者福祉課 (☎69-0330)

人口・世帯数

男	30,290 人 (－ 17)
女	32,333 人 (－ 34)
計	62,623 人 (－ 60)
世帯数	22,078 世帯 (+17)
(10 月 1 日現在・() 内は前月比)	

発行／京丹後市役所 編集／秘書広報広聴課
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
☎0772-69-0110 FAX.0772-69-0901
ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>
E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp